

---

日本における

## ガルシーア・ロルカ文献目録

目 黒 聰 子

---

### ロルカの生涯と文学

20世紀スペインにおける最も代表的な詩人で劇作家 Federico García Lorca は、1898年6月5日、南部アンダルシーア地方の都市グラナダ近くの村フェンテ・バケーロス（牛飼いの泉の意）に富裕な農家の4人兄弟の長男として出生した。農場主の父からは情熱を、小学校の元教員だった母からは知性と芸術を愛する血をうけ継いだ。幼いときは民謡、人形芝居や教会のミサを好んでまね、やや長じては詩と音楽（ピアノとギター）に傾倒し、さらに絵画を学んだ。彼は自分の詩集に個性的な挿画を多く残している。1909年、家族とともにグラナダに移り、グラナダ大学で哲学・文学・法律学を学び、1923年に卒業した。1919年、大学に学ぶかたわら20才のときマドリードに出て、多くのすぐれた文学者・芸術家を輩出した学生館（Residencia de estudiantes）に入り、1928年までここにいた。この学生館時代に、R. アルベルティ（詩集に国民文学賞受賞「陸の船人」や「恋人」「天使たち」、戯曲に「住むぬ人」「プラド美術館の戦いの夜」）、M. ファリャ（バレエ組曲「恋は魔術師」の作曲家）、S. ダリ（その超現実主義的な絵画に「燃えるキリン」「照らされた快樂」などを、映画はブニュエルと「アンダルシアの犬」を、また自分でも「黄金時代」を制作）、L. ブニュエル（映画「昼顔」「哀しみのトリスターナ」の監督）らと交わり、巨匠ファン・ラモン・ヒメーネス（詩集「空と石」散文詩「プラテローとわたし」、1956年ノーベル賞受賞）をしばしば訪ね、先輩 A. マチャード（詩集「寂寥」「カスティージャの野」）に出会うなどして芸術上の刺激をうけた。[1929年パリ・ロンドンを経てニューヨークに渡り、コロンビア大学に学んだが、1930年にはキューバをまわって帰国した。1932年、彼の終生変わらぬ師であり友であった、スペイン第2共和政府人民教育大臣フェルナンド・デ・ロス・リオスの依頼により、大学生の移動劇団「バラッカ（仮小屋の意）」を率いて、辺鄙な農村を巡回し、ローペ・デ・ベーガやカルデロンなどのスペインのすぐれた古典劇を改作演出し、民衆の啓蒙に努めた。1933年南米旅行を計画、アルゼンチン、ウルグ

ァイ、ブラジルとまわった。ブエノス・アイレスでは彼の戯曲「血の婚礼」「マリアーナ・ピネーダ」「すばらしい靴屋の女房」が上演され爆発的な成功を納めた。帰国してわずか2年後の1936年、フランコ将軍（現在のスペイン総統）によって惹き起こされた反革命の内乱が7月18日に勃発した。スペイン市民戦争の始まりである。8月16日、郷里グラナダに帰っていたロルカは、フランコ一派ファランヘ党員に捕えられ、3日後の8月19日にグラナダ近郊のヴィスナールで銃殺された。その後フランコ政府はこの事件を無視し、闇から闇にほうむり去ろうとした。だが、ロルカ虐殺の報はどこからともなく漏れ、ロルカの死は、共和政府の戦いに関心を寄せるヨーロッパやアメリカの全知識人に、いわば自由の死を象徴するものとして受けとられた。ひとしく彼らの胸を蔽ったのは、同じ怒りと悲しみだった。「なぜ彼等はロルカを殺したのでしょうか。それは、ほかでもない数世紀来連続として絶えることなきスペイン文化の燦然たる光が彼の一身に体現しているというただそれだけのためです。ファシスト共は文化を破壊するために彼を虐殺したのです（パブロ・ネルーダ、1971年ノーベル文学受賞者）」。

彼の詩集は9冊ある。主なものにふれてみると、感じやすく傷つきやすい青年の繊細な詠嘆をこめた最初の詩集「詩の本」。深く内面的な歌という意の「カンテ・ホンドの詩」—それはアンダルシアに古くから伝わる民謡の生命を継承するロルカの、新しいカンテ・ホンドである。また音楽的でロマンチックな詩的感覚で、アンダルシアの自然と動植物を鮮明なイメージで定着し、民謡風の親しみを感じさせる半面に、知的で近代的な印象をも与える「歌集」。15世紀以降スペイン民衆の間に生まれた抒情的物語詩ロマンセの形式を、生き生きとした新しい解釈で歌ったロルカの代表的歌集である「ジブシー歌集」—この中の詩は、人々の間にひろまり、彼の作品とは知らずにくちずさまれ親しまれ、外国では長らく本物のジブシー民謡と思われていたという。アメリカ滞在中、新しい産業文明にふれて得た衝撃とその悲嘆と苦痛を歌った「ニュー・ヨークでの詩人」。アンダルシアの生んだすぐれた闘牛士であり、ロルカの友人でもあったイグナシオの、牛の角にかかっている死を悼んだ「イグナシオ・サンチェス・メヒーアスへの哀歌」は、深い悲しみの情が鋭く沈潜していて、読む人の心をゆさぶってやまないロルカの最も充実した抒情詩であるといわれる。「タマリットの詩集」は、カシーダとガセーラというアラビアの定型詩にならったもので、彼の詩に常に見られる暗い愛と死の主題が集約的に表現されている。「彼の用いる暗喩は、よほどアンダルシア人のものの考え方や、風習や、風土の知識と、実感がなくと理解しがたい。また一般にロルカは殆ど、無意識的に詩想が易々と湧きあがって来る天才のように思われているが、彼の詩はいずれも想をこらして、骨肉をけずる推敲によって書かれた（会田由）」という。

彼の戯曲はだいたい次の4つに類別することができる。1. 歴史劇、2. 笑劇、3. 実験劇、4. 民衆悲劇。ここでその代表作を取り上げると、暗い血の情熱に導かれ、

死によってその恋を遂げる女の悲劇「血の婚礼」、子を生めぬ女の悲劇を描いた「イェルマ」、封建的な体面を重んじる暴君的な母親に監視され、薄暗い家のなかで朽ちてゆく娘たちを描いた「ベルナルダ・アルバの家」。これらはロルカの三大悲劇といわれるもので、いずれもアンダルシーアの宿命的な女の悲劇を描いているところに特色がある。ほかに邦訳があるのは、ユーモラスな喜劇「すばらしい靴屋の女房」、若い妻をもった老いたる夫の悲劇を笑劇風に仕立てた「ドン・ベルリンプリンとベリサの庭での恋」、色あせてゆく女の悲劇「老嬢ドニャ・ロシータ」など。邦訳がないのは「蝶の呪い」1919年、「マリアーナ・ピネーダ」1925年、「五年たった後」1931年などである。彼の戯曲には、スペインの伝統的、民族的なものが、最も新しい形式のなかに生かされており、民謡と詩の融合があり、またシュールレアリズム風の寓話のあとには、詩的要素の配された独自のリアリズムの成功があるといった風である。しかし、その中に一貫するのは愛と隣りあわせの死への情熱と、それへの恐怖、そして死自体の多様な姿が作品の核となり、背景となっていることである。

彼の全集には最後の戯曲「ベルナルダ・アルバの家」をのぞく、すべての著作を収めた、次のブエノス・アイレス版がある。

Obras completas, recopiladas por Guillermo de Torre. Buenos Aires, Losada, 1938-1949. 8 v. 24 cm.

本国スペインは、長い間彼の名や作品について沈黙していた。次に示すマドリード版の全集が出たのは彼の死後18年目、ようやく1954年になってからである。これは彼の青年時代の友人ホルヘ・ギリェンの努力によるところが大きかった。

Obras completas; recopilación y notas de Arturo del Hoyo. Prólogo de Jorge Guillén, epílogo de Vicente Aleixandre. Madrid, Aguillar, 1954. 1827 p. illus, ports. 19 cm.

日本において、彼の著作が最もまとまったかたちで翻訳されたのは、書肆ユリイカから昭和33—34年に出版された次の選集である。

ロルカ選集 ユリイカ 全4冊 B6

第一巻 詩編 283 p. 昭和33年6月刊

第二巻 戯曲編上 267 p. 昭和33年1月刊

第三巻 戯曲編下 226 p. 昭和33年11月刊

別巻 ロルカ研究 230 p. 昭和34年11月刊

なお彼の講演については、小海永二氏のロルカ作品一覧（○ロルカ選集別巻）の中に示されている。

## 本 目 録 の 概 要

**概要** 本目録はロルカの日本語文献（著作の翻訳と研究関係文献）の書誌で総計 650 点。収録期間は昭和26年 8 月から昭和46年 9 月である。これ以外にも未発見のものがあると思われるが、今回は現在までの探索、調査にとどめた。未収録の文献についてご存知の方があれば、ご教示を仰ぎたい。なお著作の原題名、制作年代、詩の行数、詩の第一行などの典拠としたものはマドリード版の全集である。

なお本目録の作成については、当館の深井人詩目録編成係主任から多くの示唆と指導を受けました。また本学文学部教授窪田般弥先生からは「ロルカ選集」をお借りしました。ここに記して深く感謝の意を表します。

### 編成（目次）

#### A 詩

AO<sub>1</sub> 多数の詩を収録する文献と略号 AO<sub>2</sub> ロルカ詩集と略号

A1 個別の詩

A2 詩の評論

A3 付・ロルカを歌った詩

#### B 戯 曲

B1 個別の戯曲

B2 戯曲の評論

B3 付・日本における上演記録

#### C 評 伝

C1 評論

C2 小伝

C3 ロルカの肖像写真

**凡例** 本目録を通じて○印を付したのは単行本の書名である。A = ロルカの個々の詩を原題のABC順に配列し、その一つ一つにどんな訳者の邦訳があるかを示すものである。AO = ロルカの詩を9篇以上収録する文献を年月順にあげ、これに□□□等の略号を与え、目録中同一記述の煩を避けることとした。次にロルカ詩集のそれぞれに邦訳頭文字の一字を与え、個々の詩が何詩集よりのものかわかるようにした。この一字は A1 において詩の行数表示の右端に記した。A1 = 各詩の原題のあとには識別のため、(詩の第1行)、制作年代、行数と連数を4×3, 5+2+……のように略記した。邦訳については、□□□等の略号を与えた文献からのものは、訳者の姓名、邦訳題名、略号、掲載ページ、発表年月。収録数9篇以下の文献からのものは記述を詳細に記した。A2 = 個々の詩の研究を含め、ロルカの詩一般あるいは詩人としてのロルカを論じた文献を発表年月順に配列した。A3 = ロルカの死を歌った詩の邦訳も多いので、ここにまとめ、彼の死を詩劇とした一篇も含めた。原作者名のABC順である。

B1 = ロルカの邦訳のある戯曲の原題名の ABC 順とし、その原題名のもとに邦訳、評論、劇評、舞台写真、辞典記事の順に類別し、その中は発表年月順にした。  
 B2 = ロルカの戯曲一般、劇作家としてのロルカを論じたものを発表年月順においた。  
 B3 = これは書誌ではないが、ロルカの戯曲の日本における受容状態を示すものであり、ロルカ研究の一資料と考えて付した。

C1 = 詩人・劇作家としてのロルカ、彼の文学一般を概説、論述したものを一括した。発表年月順。  
 C2 = ロルカの簡単な紹介や小伝の欄が多いので、ここにまとめた。辞書掲載記事を「辞書」、文学全集・詩集などに記された記事を「小欄」、文学史などで一部触れるものを「断片」として3類別し、それぞれ発表年月順に整理した。  
 C3 = ロルカの肖像写真もかなり散見するので、一つのロルカ関係文献とみなし、その所在のみを古いもの順に示した。

## 文 献 目 録

### A 詩

#### AO<sub>1</sub> ロルカの詩を多数収録する文献と略号

- ①…○世界詩人全集6 二十世紀詩集下(河出書房) 4,473p B5 昭31.3  
 ガルシア・ロルカ(会田由訳) p.393-398 9編
- ②…○月とオリーブの歌 小海永二訳(国文社, ビボア叢書24) 120p 16×13cm 昭31.7  
 注: 仏訳英訳からの翻訳 38篇
- ③…○ロルカ選集1 詩編(ユリイカ) 283p B6 昭33.6  
 合計109篇  
 詩の本(小海永二, 羽出庭梟公訳) 10篇  
 はじめてのシャンソン(長谷川四郎訳) 6篇  
 歌集(小海永二, 羽出庭梟公訳) 24篇  
 カンテ・ホンダの詩(小海永二, 羽出庭梟公訳) 21篇

- ジプシー歌集(小海永二, 羽出庭梟公訳) 12篇  
 サルバドル・ダリにささげる詩(長谷川四郎訳) 1篇  
 ニュー・ヨークの詩人(木島始訳) 6篇  
 イグナシオ・サンチェス・メヒアスへの哀歌(小海永二, 羽出庭梟公訳) 4篇  
 ガリシアの六つの詩篇(小海永二, 羽出庭梟公訳) 3篇  
 タマリットの詩集(長谷川四郎訳) 15篇  
 拾遺詩篇(小海永二, 羽出庭梟公訳) 7篇  
 注: 仏訳英訳原典による翻訳
- ④…○世界名詩集大成14 南欧・南米(平凡社) 428p A5 昭35.4  
 合計30篇  
 歌集(野々山ミチコ訳) p.319-323 12篇  
 ジプシー歌集(会田由, 野々山ミチコ訳) p.325-342 18篇

- ⑤…○ロルカ詩集 小海永二訳編  
 (飯塚書店, 世界現代詩集  
 V) 189 p B6 昭36.10  
 合計58篇

詩の本	6篇
カンテ・ホンドの詩	9篇
初めの歌々	3篇
歌集	15篇
ジプシー歌集	8篇
ニュー・ヨークでの詩人	6篇
イグナシオ・サンチェス・メ ヒーアスへの哀歌	1(4)篇
ガリシアの六つの詩篇	2篇
タマリットの詩集	5篇

- ⑥…○ロルカ詩集 長谷川四郎訳  
 (みすず書房) 148 p B6  
 昭42.6  
 合計90篇

詩の本	5篇
カンテ・ホンドの詩	26篇
はじめての歌	8篇
もろもろの歌	18篇
ジプシーのロマンス集	13篇
ニューヨークにおける詩人	1篇
劇「靴屋のどえらい女房」よ り	1篇
イグナシオ・サンチェス・ メヒーアスを弔う歌	4篇
タマリット詩集	14篇

- ⑦…○世界名詩集26 マチャード,  
 ヒメーネス, ロルカ (平凡  
 社) 266 p A5 昭44.4  
 ジプシー歌集 (会田由訳)  
 p. 163-238 18篇

- ⑧…○世界詩人全集23 現代詩集IV  
 イタリア・スペイン・北欧・  
 ギリシア (新潮社) 286 p  
 新書判 昭44.7  
 フェ德里コ・ガルシア・  
 ロルカ (鼓直訳) p. 124-  
 147 10篇

- ⑨…現代詩研究 (現代詩研究所)  
 第228—247号 昭45.2—  
 46.9 昭45.2  
 大島正訳 21篇

## AO<sub>2</sub> ロルカの詩集と略号

詩…詩の本	Libro de poemas	1921
カ…カンテ・ホンドの歌	Poema del cante jondo	1921
初…初めの歌々	Primeras canciones	1922
歌…歌集	Canciones	1924
ジ…ジプシー歌集	Romancero gitano	1928
ニ…ニュー・ヨークでの詩人	Poeta en Nueva York	1930
イ…イグナシオ・サンチェス・メヒー アスへの哀歌	Llanto por Ignacio Sánchez Mejias	1935
ガ…ガリシアの六つの詩篇	Seis poe- mas Galegos	1936
タ…タマリットの詩集	Diván del Tamarit	1936
他…他の詩	Poemas sueltos	

## A 1 個別の詩

- A Irene García** (En el soto,) [1921-  
 1924] 6+4+2+2+6 歌  
 小海永二 イレーヌ・ガルシアへ  
 ② p. 47-49 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 イレーネ・  
 ガルシア (下女) へ ③  
 p. 83-84 昭33.6
- A Mercedes en su vuelo** (Una viola  
 de luz yerta y helada) 不明 4+  
 4+3+3 他  
 小海永二 飛び去ったメルセデスに  
 ② p. 109-110 昭31.7
- Adán** (Árbol de sangre moja la  
 mañana) 1922 4+4+3+3 初  
 長谷川四郎 アダム ③ p. 54-55  
 昭33.6
- 同上 ⑥ p. 42-43 昭42.6
- Adelina de paseo** (la mar no tiene  
 naranjas,) [1921-1924] 4+4+3 歌  
 小海永二・羽出庭梟公 散歩するア

- デリーナ ㊦ p. 73-74 昭33. 6  
 荒井正道 散歩するアデリーナ  
 ○世界の詩集11 世界恋愛名詩集  
 集 宗左近編 (角川書店)  
 p. 161 昭42. 9
- [**Agua, ¿ Dónde vas ?**] [1921-1924]  
 (1+2)×3+2+2 歌  
 小海永二 波よ お前はどこへ行く  
 ㊦ p. 59-60 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭梟公 [水よ、お  
 前はどこへ行く?] ㊦ p. 95-  
 96 昭33. 6  
 長谷川四郎 水よ おまえはどこへ  
 いく? ㊦ p. 58-59 昭42. 6  
 [小海永二] 波よ お前はどこへ行  
 く ○詩をたのしく一作詩と鑑  
 賞 高田敏子著 (主婦の友社)  
 p. 179-180 昭43. 7
- Aire de nocturno** (Tengo mucho  
 miedo) 1919 7+4+8+4+8+4 詩  
 小海永二 夜想曲 ㊦ p. 22-25  
 昭36. 10  
 大島正 夜曲風に ㊦ 第246号  
 p. 2 昭46. 8
- Los álamos de plata** (Los álamos  
 de plata) 1919 6+5+3+7+5+4  
 +3+6 詩  
 大島正 銀のポプラ ㊦ 第236号  
 p. 3-4 昭45. 10
- Alma ausente** (No te conoce el  
 toro ni la higuera.) 1935 4×4+  
 5+4 イ  
 小海永二・羽出庭梟公 不在の魂  
 ㊦ p. 235-237 昭33. 6  
 小海永二 不在の魂 ㊦ p. 158-  
 160 昭36. 10  
 長谷川四郎 魂の不在 ㊦ p. 110-  
 112 昭42. 6
- Amparo** (Amparo.) 1921 3+2+4+  
 4+6 カ  
 小海永二 アムパロ ㊦ p. 63-64  
 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭梟公 アンパーロ  
 ㊦ p. 122-124 昭33. 6  
 小海永二 アンパーロ ㊦ p. 39-  
 41 昭36. 10  
 長谷川四郎 アンパーロ ㊦ p. 31

- 32 昭42. 6  
 [Arbolé arbolé] [1921-1924] 26+2 歌  
 小海永二 木の茂み ㊦ p. 39-42  
 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭梟公 [灌木灌木]  
 ㊦ p. 76-78 昭33. 6  
 小海永二 [木立よ 木立] ㊦  
 p. 65-67 昭36. 10  
 長谷川四郎 シャンソン ㊦ p. 50  
 -51 昭42. 6  
 注: マドリッド版全集と照合すると訳詩は  
 「Arbolé arbolé」に相当するのこ  
 こにおく。何故「シャンソンCanción」  
 の題名が付されたのか不明
- Árboles** (¡ Árboles!) 1919 5+6 詩  
 大島正 樹木 ㊦ 第237号 p. 4-5  
 昭45. 11
- La aurora** (La aurora de Nueva  
 York tiene) [1929-1930] 4×5 =  
 木島始 曙 ㊦ p. 207-208 昭33. 6  
 鼓直 夜明け ㊦ p. 142-143  
 昭44. 7
- ¡ Ay! (El grito deja en el viento)  
 1921 2×5+3 カ  
 長谷川四郎 アーイ! ㊦ p. 24  
 昭42. 6
- Baco** (Verde rumor intacto.) [1921  
 -1924] 2×6 see also → Verlainé 歌  
 小海永二・羽出庭梟公 バッカス  
 ㊦ p. 80 昭33. 6
- Baile** (La Carmen está bailando)  
 1921 (4+2)×3 カ  
 小海永二 踊り ㊦ p. 67-69 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭梟公 舞踏 ㊦  
 p. 126-127 昭33. 6  
 小海永二 踊り ㊦ p. 43-44  
 昭36. 10  
 長谷川四郎 ダンス ㊦ p. 34-35  
 昭42. 6
- Balada de la placeta** (Cantan los  
 niños) 1919 4+1+2+1+2+1+4  
 +2+1+2+1+4+2+1+2+1+4  
 2+(1+2)×4+14+1+4+4 詩  
 小海永二・羽出庭梟公 小さな広場  
 の譚詩 ㊦ p. 28-33 昭33. 6  
 長谷川四郎 小さい広場のバラード

- ⑥ p. 9-12 昭42. 6  
 同上 ○長谷川四郎作品集4 (晶文社) p. 31-33 昭44. 1
- Balada de un día de Julio** (Esquilon de plata) 1919 2×21+4×4+8+4+4+2+2 詩  
 長谷川四郎 七月のある日のバラード ⑥ p. 4-7 昭42. 6
- La balada del agua del mar** (El mar) 1919 4+2×8+4 詩  
 小海永二・羽出庭泉公 海の水の譚 詩 ③ p. 33-35 昭33. 6  
 長谷川四郎 海の水のバラード ⑥ p. 12-13 昭42. 6
- Baladilla de los tres ríos** (El río Guadalquivir) 1921 (4+2)×3+2×7 カ  
 小海永二・羽出庭泉公 三つの河の小譚詩 ③ p. 101-103 昭33. 6  
 小海永二 三つの河の小譚詩 ⑤ p. 30-33 昭36. 10  
 長谷川四郎 三つの川の小さなバラード ⑥ p. 14-15 昭42. 6  
 園田守男 三つの川の小バラード <フェデリコ・ガルシア・ロルカの詩にあらわれた「愛と死」について 園田> 長崎県立国際経済大学論集 第4巻3号 p. 6-9 昭45. 11
- Balcón** (La Lola) 1921 15行 カ  
 小海永二・羽出庭泉公 露台 ③ p. 110-111 昭33. 6  
 小海永二 露台 ⑤ p. 35 昭36. 10
- Burla de Don Pedro a caballo** (Por una vereda) [1924-1927] 12+11+14+8+18+6 ジ  
 会田由 馬上のドン・ペドロのあざ笑い ④ p. 340-341 昭35. 4  
 小海永二 馬上のドン・ペドロのあざ笑い ⑤ p. 117-122 昭36. 10  
 長谷川四郎 馬にのったドン・ペドロ ⑥ p. 90-92 昭42. 6  
 会田由 馬上のドン・ペドロのあざ笑い ⑦ p. 228-232 昭44. 4
- Café cantante** (Lámparas de cristal) 1921 2+12 カ
- 小海永二・羽出庭泉公 音楽喫茶 ③ p. 124-125 昭33. 6
- La calle de los mudos** (Detrás de las inmóviles vidrieras) [1921-1924] 2×5 歌  
 小海永二・羽出庭泉公 啞の街 ③ p. 86-87 昭33. 6  
 小海永二 啞の街 ⑤ p. 71-72 昭36. 10
- Camino** (Cien jinetes enlutados.) 1921 16行 カ  
 小海永二・羽出庭泉公 道 ③ p. 113-114 昭33. 6  
 長谷川四郎 道 ⑥ p. 28 昭42. 6
- El camino** (No conseguirá nunca) [1921] 6+6+16+9+6+7 詩  
 大島正 道 ⑨ 第229号 p. 6-7 昭45. 3
- Campana — Bordón** (En la torre) 1921 3×3+2 カ  
 小海永二・羽出庭泉公 鐘 ③ p. 112-113 昭33. 6
- Campo** (El cielo es de ceniza.) 1920 16+2 詩  
 大島正 田園 ⑨ 第234号 p. 5-6 昭45. 8
- Canción** (Si tú oyeras) 不明 4×3 他  
 小海永二 シャンソン ② p. 103-104 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭泉公 歌 ③ p. 280-281 昭33. 6
- Canción china en Europa** (La señorita) [1921-1924] 4×4+2×4 歌  
 会田由 ヨーロッパの支那の歌 ① p. 394 昭31. 3  
 小海永二・羽出庭泉公 ヨーロッパのソナの歌 ③ p. 65-67 昭33. 6
- Canción de cuna a Mercedes, muerta** (Ya te vemos dormida.) 不明 2+4+2 他  
 小海永二 死んだメルセデスのための子守唄 ② p. 111 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭泉公 子守唄 ③ p. 281 昭33. 6
- Canción de jinete** (Córdoba.) [1921-1924] 2+4×3+2 歌



- 会田由 騎手の歌 ① p. 394-395  
昭31.3
- 小海永二 騎士の歌 ② p. 37-38  
昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 騎手の歌  
③ p. 75-76 昭33.6
- 小海永二 騎手の歌 ⑤ p. 64-65  
昭36.10
- 長谷川四郎 騎馬行 ⑥ p. 49  
昭42.6
- 園田守男 騎士の歌 <フェデリコ・  
ガルシア・ロルカの詩にあらわ  
れた「愛と死」について 園田>  
長崎県立国際経済大学論集 第  
4巻3号 p. 3-5 昭45.11
- 丹羽光男 [邦訳題なし] ○スペイ  
ン文明史 J. B. トレンジ著  
(みすず書房) p. 177-178  
昭45.12
- 瀬田栄之助 騎士の歌 ○スペイン  
文化とスペイン語研究 (大盛堂  
書房) p. 285-287 昭46.4
- Canción de jinete** (1860) (En la luna  
negra) [1921-1924] (3+2)×5 歌
- 小海永二 騎手の歌(1860) ⑤  
p. 61-63 昭36.10
- 長谷川四郎 騎馬行(1860) ⑥  
p. 47-48 昭42.6
- 鼓直 馬上の男の歌(1860) ⑧  
p. 135-137 昭44.7
- Canción de las siete doncellas** (Can-  
tan las siete) [1921-1924] 2×7 歌
- 小海永二 七人の娘たちの歌 ②  
p. 21-22 昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 七人の娘の  
歌 ③ p. 59-60 昭33.6
- 長谷川四郎 七人むすめの歌 ⑥  
p. 44 昭42.6
- Canción del día que se va** (¡Qué  
trabajo me cuesta) [1921-1924]  
4+4+8+8 歌
- 長谷川四郎 去りゆく日のシャンソ  
ン ⑥ p. 61-62 昭42.6
- Canción del mariquita** (El mariqui-  
ta se peina) [1921-1924] 2×8 歌
- 小海永二 マリキータの歌 ⑤  
p. 70-71 昭36.10
- Canción del naranjo seco** (Leñador.)  
[1921-1924] 4×4 歌
- 小海永二・羽出庭臯公 枯れたオレ  
ンジの木の歌 ③ p. 97-98  
昭33.6
- 長谷川四郎 枯れたオレンジの木の  
シャンソン ⑥ p. 60-61 昭42.6
- 同上 ○長谷川四郎作品集4 (晶文  
社) p. 27 昭44.1
- Canción oriental** (Es la granada  
olorosa) 1920 6+4+6+18+2+2  
+4×5+14+8+4+2 詩
- 大島正 東洋的な歌 ⑨ 第234号  
p. 3-5 昭45.8
- Canción otoñal** (Hoy siento en el  
corazón) 1918 8+10+4×3+6+4  
+4+12 詩
- 小海永二 秋の歌 ② p. 7-12  
昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 秋の歌 ③  
p. 20-23 昭33.6
- Canción primaveral** (Sales los niños  
alegres) 1919 8+14+4 詩
- 小海永二 春の歌 ② p. 13-15  
昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 春の歌 ③  
p. 23-25 昭33.6
- Canción tonta** (Mamá.) [1921-1924]  
2×6 歌
- 小海永二 お馬鹿さんの歌 ②  
p. 33-34 昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 お馬鹿さん  
の歌 ③ p. 72-73 昭33.6
- Cancioncilla sevillana** (Amanecía)  
[1921-1924] 4+2+4+4+2 歌
- 小海永二 セヴィリアの小唄 ②  
p. 30-31 昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 セビリアの  
小唄 ③ p. 67-68 昭33.6
- 小海永二 セビーリャ小唄 ⑤  
p. 59-60 昭36.10
- Cantos nuevos** (Dice la tarde: ¡Ten-  
go sed de sombra!) 1920 4×6 詩
- 小海永二・羽出庭臯公 新しい歌  
③ p. 41-43 昭33.6
- 長谷川四郎 新しい歌 ⑥ p. 3-4

- 昭42. 6  
**Capricho** (Detrás de cada espejo) 不明 4×4 他  
 小海永二 狂想曲 ② p. 90-91 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭臯公 <sup>カプリッチョ</sup> 綺想曲 ③ p. 273-274 昭33. 6  
 長谷川四郎 カプリッチョ ○カラ  
 ー版世界文学全集別巻1 世界  
 名詩集 (河出書房新社) p. 435  
 -436 昭44. 5
- Caracola** (Me han traído una cara-  
 cola.) [1921-1924] 1+6+1 歌  
 小海永二 貝殻 ② p. 32 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭臯公 ほら貝 ③  
 p. 68-69 昭33. 6  
 小海永二 ほら貝 ⑤ p. 60-61  
 昭36. 10
- La casada infiel** (Y que yo me la  
 llevé al río) [1924-1927] 19+28  
 +8 ジ  
 会田由 不貞なる人妻 ① p. 397-  
 398 昭31. 3  
 小海永二 不実な女房 ② p. 80-  
 84 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭臯公 不実な女房  
 ③ p. 139-143 昭33. 6  
 会田由 不貞なる人妻 ④ p. 330-  
 331 昭35. 4  
 小海永二 不貞なる人妻 ⑤ p. 96  
 -99 昭36. 10  
 会田由 不貞なる人妻 ○世界の名詩  
 ーパイロンからヘッセまで 丸  
 山薫編(集英社, 世界の名作23)  
 p. 71-72 昭40. 5  
 同上 ⑦ p. 184-186 昭44. 4  
 長谷川四郎 浮気女房 ○カラー版  
 世界文学全集別巻1 世界名詩集  
 (河出書房新社) p. 436-437  
 昭44. 5
- Casida de la muchacha dorada** (La  
 muchacha dorada) 1936 3+4+4  
 +3+4+4+3 タ  
 長谷川四郎 金色の娘 ③ p. 266-  
 268 昭33. 6  
 小海永二 金色の娘のカンーダ ⑤  
 p. 175-177 昭36. 10  
 長谷川四郎 金色の娘 ⑥ p. 124-  
 125 昭42. 6
- Casida de la mujer tendida** (Verte  
 desnuda es recordar la tierra.)  
 1936 4×4 タ  
 長谷川四郎 横たわる女 ③ p. 264  
 -265 昭33. 6  
 同上 ⑥ p. 122-123 昭42. 6
- Casida de la rosa** (La rosa) 1936  
 4×3 タ  
 長谷川四郎 バラ ③ p. 265-266  
 昭33. 6  
 同上 ⑥ p. 123-124 昭42. 6  
 同上 ○世界青春詩集 藤原定編  
 (三笠書房, 世界の名詩集11)  
 p. 46-47 昭42. 8
- Casida de las palomas oscuras** (Por  
 las ramas del laurel) 1936 22行 タ  
 長谷川四郎 暗い鳩 ③ p. 268-270  
 昭33. 6  
 同上 ⑥ p. 125-126 昭42. 6
- Casida de los ramos** (Por las arb-  
 oledas del Tamarit) 1936 4×5 タ  
 長谷川四郎 枝々 ③ p. 263-264  
 昭33. 6  
 同上 ⑥ p. 121-122 昭42. 6  
 鼓直 木の枝のカンーダ ⑧ p. 145  
 -147 昭44. 7
- Casida del herido por el agua**  
 (Quiero bajar al pozo,) 1936 4+  
 16+4 タ  
 長谷川四郎 水に傷つけられた少年  
 ③ p. 260 昭33. 6  
 小海永二 水に傷ついた子供のカン  
 ーダ ⑤ p. 173-175 昭36. 10  
 長谷川四郎 水に傷つけられた子供  
 ⑥ p. 119-120 昭42. 6
- Casida del llanto** (He cerrado mi  
 balcón) 1936 4+3+5 タ  
 長谷川四郎 泣き声 ③ p. 262  
 昭33. 6  
 同上 ⑥ p. 121 昭42. 6
- Cazador** (¡ Alto pinar !) [1921-1924]  
 2+4+2 歌  
 野々山ミチコ 狩人 ④ p. 321

- 昭35.4  
**Chopo muerto** (¡ Chopo viejo!)  
 1920 12+10+8+4+17+8 詩  
 大島正 倒れた黒楊 ⑨ 第237号  
 p. 3-4 昭45.11
- Ciudad sin sueño** (No duerme nadie por el cielo. Nadie, nadie.)  
 [1929-1930] 6+7+8+4+12+12 =  
 小海永二 眠りのない町 ⑤ p. 130  
 -133 昭36.10  
 鼓直 眠りのない都会 ⑧ p. 139-  
 142 昭44.7
- Clamor** (En las torres) 1921 3+3  
 +7+2+2 カ  
 小海永二・羽出庭梟公 喧騒 ③  
 p. 120-121 昭33.6  
 長谷川四郎 おとむらいの鐘の音  
 ⑥ p. 29-30 昭42.6  
 鼓直 弔鐘 ⑧ p. 132-134 昭44.7
- Claro de reloj** (Me senté) 1922 9行初  
 長谷川四郎 時計の中の空地 ③  
 p. 55-56 昭33.6  
 同上 時計の空地 ⑥ p. 43 昭42.6
- La cogida y la muerte** (A las cinco de la tarde.) 1935 8+24+20 イ  
 小海永二・羽出庭梟公 負傷と死  
 ③ p. 223-226 昭33.6  
 小海永二 負傷と死 ⑤ p. 144-  
 147 昭36.10  
 長谷川四郎 角突と死 ⑥ p. 101-  
 103 昭42.6  
 長南実 角のひとつきと死 <ガル  
 シーア・ロルカ 長南> ○世  
 界名詩鑑賞辞典 大沢実編 (東  
 京堂出版) p. 70-71 昭44.12
- 牟田口義郎 イグナシオ・サンチェ  
 スの涙 ○地中海のほとり 牟  
 田口著 (朝日新聞社) p. 197-  
 198 昭46.8  
 注: 「La cogida y la muerte」のう  
 ち最初の8行と「La sangre derramada」のうち最初の4行の訳
- Cometa** (En Sirio,) 不明 2行 他  
 小海永二 彗星 ② p. 95 昭31.7
- El concierto interrumpido** (Ha roto la armonía) 1920 4×3+6 詩
- 大島正 中断された演奏 ⑨ 第231  
 号 p. 3 昭45.5  
**Conjuro** (La mano crispada) 1921  
 (4+2)×3 カ  
 小海永二 まじない ⑤ p. 41-42  
 昭36.10
- Cortaron tres árboles** (Eran tres.)  
 [1921-1924] 7行 歌  
 小海永二・羽出庭梟公 三本の木が  
 伐り倒された ③ p. 60-61  
 昭33.6
- Crótalo** (Crótalo) 1921 4+6+4 カ  
 小海永二 カスタネット ⑤ p. 45  
 -46 昭36.10
- Cuatro baladas amarillas** (En lo alto de aquel monte) 1922 2×5  
 +1+2+1+2×6+2+18+2+2+2  
 +6+2+6+2 初  
 長谷川四郎 四つの黄色いバラード  
 ③ p. 49-54 昭33.6  
 野々山ミチコ 四つの黄色のバラ  
 ード ④ p. 319-320 昭35.4  
 長谷川四郎 四つの黄色いバラード  
 ⑥ p. 39-42 昭42.6
- Cuerpo presente** (La piedra es una frente donde los sueños gimen)  
 1935 4×6+5+4×5 イ  
 小海永二・羽出庭梟公 存在する肉  
 体 ③ p. 232-235 昭33.6  
 小海永二 存在する肉体 ③ p. 154  
 -158 昭36.10  
 長谷川四郎 納棺前の死体 ④  
 p. 107-110 昭42.6
- Cueva** (De la cueva salen) 1921 2  
 ×8 カ  
 長谷川四郎 ほらあな ⑥ p. 26-  
 27 昭42.6
- Danza — En el huerto de la Petenera** (En la noche del huerto.)  
 1921 4×4 カ  
 会田由 「ペテネーラ」の庭 ①  
 p. 396 昭31.3  
 注: 邦訳題名は、副題の訳である  
 小海永二・羽出庭梟公 舞踏 ③  
 p. 115-116 昭33.6  
 小海永二 舞い ⑤ p. 36-37

- 昭36.10  
 同上 舞い—ペテネーラのくだもの  
 畑で ○若き日の詩集 新川和  
 江編(集英社, コバルト・ブッ  
 クス18) p. 176-177 昭41.11
- Danza da lúa en Santiago** (¡Fita  
 aquel branco galán,) 1935 2×14  
 +4 ガ  
 小海永二 聖ジャックの月の踊り  
 ㊦ p. 105-108 昭31.7  
 小海永二・羽出庭泉公 サンティア  
 ゴの月の踊り ㊦ p. 244-  
 246 昭33.6
- De profundis** (Los cien enamora-  
 dos) 1921 10行 ガ  
 小海永二・羽出庭泉公 <sup>デ・プロフンディス</sup> 哀悼の歌  
 ㊦ p. 119-120 昭33.6  
 長谷川四郎 デ・プロフンディス  
 ㊦ p. 28-29 昭42.6
- Debussy** (Mi sombra va silenciosa)  
 [1921-1924] 2×6 歌  
 野々山ミチコ ドビュッシー ㊦  
 p. 322 昭35.4
- Deseo** (Sólo tu corazón caliente.)  
 1920 2+5+4+6+5+2 詩  
 大島正 慾望 ㊦ 第236号 p. 4-  
 5 昭45.10
- Despedida** (Si muero,) [1921-1924]  
 2×4 歌  
 小海永二 暇乞い ㊦ p. 54-55  
 昭31.7  
 小海永二・羽出庭泉公 暇乞い ㊦  
 p. 92-93 昭33.6  
 野々山ミチコ 別れ ㊦ p. 323  
 昭35.4  
 小海永二 別れ ㊦ p. 77 昭36.10  
 長谷川四郎 さらば ㊦ p. 55  
 昭42.6  
 [小海永二] 暇乞い ○詩をたのし  
 く一作詩と鑑賞 高田敏子著  
 (主婦の友社) p. 179 昭43.7
- Después de pasar** (Los niños miran)  
 1921 2+5+2 カ  
 小海永二・羽出庭泉公 通り過ぎた  
 後では ㊦ p. 105 昭33.6  
 長谷川四郎 通りすぎたあと ㊦
- p. 19 昭42.6  
**Dos lunas de tarde** (La luna está  
 muerta;) [1921-1924] 2×5+2×  
 3+4 歌  
 小海永二 夜の月 ㊦ p. 50-51  
 昭31.7  
 注: 第2節の訳だけである  
 小海永二・羽出庭泉公 夕暮の二つ  
 の月 ㊦ p. 87-89 昭33.6  
 小海永二 夕暮の二つの月 ㊦  
 p. 73-75 昭36.10  
 長谷川四郎 夕ぐれの二つの月 ㊦  
 p. 52-53 昭42.6
- Dos marinos en la orilla** (Se traje  
 en el corazón) [1921-1924] 2×3  
 +1+2×3+1 歌  
 小海永二・羽出庭泉公 海岸の二人  
 の水夫 ㊦ p. 96-97 昭33.6  
 小海永二 岸辺の二人の水夫 ㊦  
 p. 81-82 昭36.10  
 長谷川四郎 海辺の船乗りふたり  
 ㊦ p. 59-60 昭42.6
- Eco** (Ya se ha abierto)[1921-1924]  
 2×4 歌  
 小海永二 こだま ㊦ p. 80 昭36.10
- [En un cortijo de Córdoba,]** 1930  
 91行  
 長谷川四郎 馬具屋の女房のロマン  
 ス ㊦ p. 98-101 昭42.6  
 同上 ○カラー版世界文学全集別巻  
 1 世界名詩集(河出書房新社)  
 p. 437-438 昭44.5
- Encina** (Bajo tu casta sombra, en-  
 cina vieja,) 1919 4×3+8+4+8  
 +6+6+4 詩  
 大島正 樾の木 ㊦ 第243号  
 p. 2-3 昭46.5
- Encrucijada** (¡Oh, qué dolor el  
 tener) 1920 4+4+2+4+5 詩  
 大島正 四つ辻 ㊦ 第228号  
 p. 7 昭45.2
- Encrucijada** (Viento del Este:)  
 1821 14行 カ  
 長谷川四郎 四つ辻 ㊦ p. 23  
 昭42.6
- Encuentro** (Ni tú ni yo estamos)

- 1921 18行 カ  
長谷川四郎 出会い ⑥ p. 27 昭42. 6
- Los encuentros de un caracol aventurero** (Hay dulzura infantil)  
1918 29+13+5+4+6+13+5+4  
+8+14+17+21+5+7+6+2+10  
+8 詩  
小海永二・羽出庭梟公 冒険好きな  
かたつむりの出会ったこと ③  
p. 9-19 昭33. 6
- Es verdad** (¡Ay qué trabajo me  
cuesta) [1921-1924] 2+3+4+2 歌  
長谷川四郎 まったくだ ⑥ p. 49  
-50 昭42. 6
- Escuela** (Maestro.) 不明 (1+2)×4  
+1×8 他  
小海永二 学校で ② p. 100-102  
昭31. 7  
小海永二・羽出庭梟公 学校 ③  
p. 278-280 昭33. 6
- Espigas** (El trigal se ha entregado  
a la muerte.) 1919 4+4+2+4+  
5+7+6+6 詩  
大島正 麦の穂 ⑨ 第238号  
p. 4-5 昭45. 12
- Fábula y rueda de los tres amigos**  
(Enrique.) [1929-1930] 3+4+3+  
4+1+6+1+7+1+7+1+9+11+  
12 二  
木島始 三人の友の寓話と輪舞 ③  
p. 191-195 昭33. 6
- Falseta** (¡Ay, petenera gitana!)  
1921 16行 カ  
小海永二・羽出庭梟公 裏声 ③  
p. 118-119 昭33. 6
- Friso** (Tierra) [1921-1924] 1+2+  
1+2 歌  
小海永二 垂幕 ② p. 23 昭31. 7  
小海永二・羽出庭梟公 <sup>フリース</sup>带状裝飾  
③ p. 60 昭33. 6
- Gacela de la huida** (Me he perdido  
muchas veces por el mar) 1936  
5+4×3 タ  
長谷川四郎 逃亡 ③ p. 257-258  
昭33. 6
- 同上 ⑥ p. 116-117 昭42. 6
- Gacela de la muerte oscura** (Quiero  
dormir el sueño de las manzanas.)  
1936 4+5+6+4+4 タ  
長谷川四郎 暗い死 ③ p. 255-  
257 昭33. 6  
同上 ⑥ p. 115-116 昭42. 6
- Gacela de la raíz amarga** (Hay una  
raíz amarga) 1936 2+2+4+1+  
4+2 タ  
長谷川四郎 苦い根 ③ p. 254-255  
昭33. 6  
同上 ⑥ p. 114-115 昭42. 6
- Gacela de la terrible presencia** (Yo  
quiero que el agua se quede sin  
cauce.) 1936 2×8 タ  
長谷川四郎 恐ろしい立会 ③  
p. 250-251 昭33. 6
- Gacela del amor con cien años**  
(Suben por la calle) 1936 (2+1)  
×4+2 タ  
小海永二 百年の愛のガセーラ ⑤  
p. 169-171 昭36. 10  
長谷川四郎 百年の恋 ⑥ p. 117-  
118 昭42. 6
- Gacela del amor desesperado** (La  
noche no quiere venir) 1936 3+  
2+2+3+2+2+3 タ  
長谷川四郎 望みのない恋 ③  
p. 251-253 昭33. 6  
同上 ⑥ p. 112-113 昭42. 6  
同上 ○世界の詩集11 世界恋愛名  
詩集 宗左近編(角川書店)  
p. 164-165 昭42. 9
- Gacela del amor imprevisto** (Nadie  
comprendía el perfume) 1936 4  
×4 タ  
長谷川四郎 予めわからぬ恋 ③  
p. 249-250 昭33. 6
- Gacela del mercado matutino** (Por  
el arco de Elvira) 1936 4+6+4  
6+4 タ  
長谷川四郎 朝の市場 ③ p. 258-  
260 昭33. 6  
小海永二 朝の市場のガセーラ ⑤

- p. 171-173 昭36. 10  
 長谷川四郎 朝の市場 ⑥ p. 118-119 昭42. 6
- Gacela del niño muerto** (Todas las tardes en Granada,) 1936 4×4 タ  
 長谷川四郎 死んだ子供 ③ p. 253-254 昭33. 6  
 小海永二 死んだ子供のガセーラ ⑤ p. 168-169 昭36. 10  
 長谷川四郎 死んだ子供 ⑥ p. 113-114 昭42. 6  
 鼓直 死んだ子供のガセーラ ⑧ p. 144-145 昭44. 7
- [Las gentes iban]** [1921-1924] 2+10+10+2 歌  
 小海永二・羽出庭泉公 [みんなが行った] ③ p. 84-86 昭33. 6
- Granada y 1850** (Desde mi cuarto) ④ [1921-1924] 2+4+4 歌  
 長谷川四郎 グラナダと一八五〇 ⑥ p. 58 昭42. 6
- El grito** (La elipse de un grito,) 1921 3+3+1+3+1+2+1 カ  
 長谷川四郎 叫び声 ⑥ p. 17-18 昭42. 6
- La guitarra** (Empieza el llanto) 1921 21+5 カ  
 長谷川四郎 ギター ⑥ p. 16-17 昭42. 6  
 牟田口義郎 ギター ○地中海のほとり 牟田口著 (朝日新聞社) p. 206-207 昭46. 8  
 注: 最初の12行と最後の3行の訳
- Hora de estrellas** (El silencio redondo de la noche) 1920 3+11+2+2 詩  
 大島正 星の時刻 ⑨ 第229号 p. 7-8 昭45. 3
- Huerto de marzo** (Mi manzano) [1921-1924] 2×6 歌  
 野々山ミチコ 三月の果樹園 ④ p. 323 昭35. 4  
 同上 ○山と高原と湖の詩集 新川和江編 (集英社, コバルト・ブックス98) p. 144-145 昭44. 10
- Idilio** (Tú querías que yo te dijera) [1921-1924] 2×8 歌  
 長谷川四郎 相聞牧歌 ⑥ p. 57 昭42. 6
- Invocación al laurel** (Por el horizonte confuso y doliente) 1919 4+4+6+4×5+5×3+4×4 詩  
 大島正 月桂樹への祈り ⑨ 第242号 p. 6-7 昭46. 4
- Juan Ramón Jiménez** (En el blanco infinito,) [1921-1924] 3×4+2 歌  
 小海永二・羽出庭泉公 ファン・ラモン・ヒメーネス ③ p. 81-82 昭33. 6
- [El lagarto está llorando]** [1921-1924] 2×8 歌  
 小海永二・羽出庭泉公 [とかがげが泣いて……] ③ p. 69-70 昭33. 6  
 野々山ミチコ 蜥蜴が泣いている… ④ p. 321-322 昭35. 4
- El lagarto viejo** (En la agostada senda) 1920 14+11+8+8+16+12+4+6 詩  
 小海永二 老とかがげ ⑤ p. 12-17 昭36. 10  
 鼓直 老いたとかがげ ⑧ p. 127-132 昭44. 7
- Lamentación de la muerte** (Sobre el cielo negro,) 1921 2+6+6+8+2 カ  
 長谷川四郎 死の嘆き ⑥ p. 32-33 昭42. 6
- La Lola** (Bajo el naranjo lava) 1921 4+2+4+2+3+2 カ  
 小海永二 ローラ ② p. 61-62 昭31. 7  
 小海永二・羽出庭泉公 ローラ ③ p. 121-122 昭33. 6  
 小海永二 ローラ ⑤ p. 37-39 昭36. 10  
 長谷川四郎 ローラ ⑥ p. 30-31 昭42. 6
- Lucía Martínez** (Lucía Martínez) [1921-1924] 2+4+4+2 歌  
 小海永二・羽出庭泉公 ルシーア・マルティエーネス ③ p. 89-90

- 昭33.6  
**La luna asoma** (Cuando sale la luna) [1921-1924] 4×4 歌  
 野々山ミチコ 月がのぞく ④ p. 323 昭35.4  
 長谷川四郎 月の出 ⑥ p. 51-52 昭42.6  
 同上 ○カラー版世界文学全集別巻 1 世界名詩集(河出書房新社) p. 434 昭44.5
- La luna y la muerte** (La luna tiene dientes de marfil.) 1919 14+4+4 詩  
 小海永二・羽出庭梟公 月と死神 ③ p. 35-37 昭33.6  
 小海永二 月と死神 ⑤ p. 18-19 昭36.10  
 大島正 月と死 ⑨ 第235号 p. 1 昭45.9
- Llanto por Ignacio Sánchez Majías** → La cogida y la muerte. La sangre derramada. Cuerpo presente. Alma ausente.  
**Madrigal** (Yo te miré a los ojos) 1919 (4+2)×3+6+2 詩  
 小海永二 恋の歌 ② p. 16-18 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 <sup>マドリガル</sup>恋歌 ③ p. 37-39 昭33.6  
 小海永二 恋歌 ⑤ p. 20-22 昭36.10  
 荒井正道 マドリガル ○世界の詩集11 世界恋愛名詩集 宗左近編(角川書店) p. 162-163 昭42.9  
 大島正 マドリガル ⑨ 第235号 p. 2 昭45.9
- Madrigal â cibdá de Santiago** (Chove en Santiago) 1935 4×4 ガ  
 小海永二・羽出庭梟公 サンティアゴの街への恋歌 ③ p. 241-242 昭33.6  
 小海永二 サンティアゴの町への恋歌 ⑤ p. 162-163 昭36.10
- Madrigal de verano** (Junta tu roja boca con la mía.) 1920 4×12 詩  
 小海永二・羽出庭梟公 夏の恋歌 <sup>マドリガル</sup> ③ p. 25-28 昭33.6  
 小海永二 夏の恋歌 <sup>マドリガル</sup> ⑤ p. 8-11 昭36.10
- Madrugada** (Pero como el amor) 1921 4×3+3 カ  
 小海永二・羽出庭梟公 夜明け ③ p. 111-112 昭33.6
- Malagueña** (La muerte) 1921 3+4+4+5 カ  
 長谷川四郎 マラゲーニャ ⑥ p. 33-34 昭42.6
- Manantial-fragmento** (La sombra se ha dormido en la pradera.) 1919 2+8+4+4+9+27+12+4+10+12+4+8+6+4 詩  
 大島正 泉一断片 ⑨ 第240号 p. 1-3 昭46.2
- Mar** (El mar es) 1919 4+4+5+4+4+5+4 詩  
 大島正 海 ⑨ 第241号 p. 2-3 昭46.3
- Martirio de Santa Olalla** (Por la calle brinca y corre) [1924-1927] 22+28+16+8 ジ  
 小海永二・羽出庭梟公 聖女オラリアの殉教 ③ p. 168-172 昭33.6  
 会田由 聖女オラリアの殉教 ④ p. 339-340 昭35.4  
 同上 ⑦ p. 223-227 昭44.4
- Media luna** (La luna va por el agua.) 1922 6行 初  
 長谷川四郎 半月 ③ p. 48-49 昭33.6  
 野々山ミチコ 半月 ④ p. 321 昭35.4  
 小海永二 半月 ⑤ p. 51 昭36.10  
 長谷川四郎 半月 ⑥ p. 38 昭42.6
- Meditación bajo la lluvia-fragmento** (Ha besado la lluvia al jardín provinciano) 1919 4×5+11+2+2 詩  
 大島正 雨の日の冥想一断片 ⑨ 第239号 p. 3-4 昭46.1
- Memento** (Cuando yo me muera.)

- 1921 3×3+1 カ  
 小海永二 ミサのための祈り ②  
 p. 65-66 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 覚え書 ③  
 p. 125-126 昭33.6  
 長谷川四郎 忘れるな ⑥ p. 33  
 昭42.6  
 鼓直 忘れずに ⑧ p. 134-135  
 昭44.7
- [*Mi niña se fué a la mar*] [1921-  
 1924] 4×4 歌  
 小海永二 海のほとりに歩みを運び  
 … ② p. 35-36 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 [わたしの  
 娘は海へ出かけた] ③ p. 74-  
 75 昭33.6
- La monja gitana** (Silencio de cal  
 y mirto.) [1924-1927] 36行 ジ  
 野々山ミチコ ジプシーの尼僧 ④  
 p. 330 昭35.4  
 小海永二 ジプシー尼僧 ⑤ p. 93  
 95 昭36.10  
 長谷川四郎 ジプシーの尼さん ⑥  
 p. 71-73 昭42.6  
 会田由 ジプシーの尼僧 ⑦ p. 181  
 -183 昭44.4
- Muerte de Antoñito el Camborio**  
 (Voces de muerte sonaron) [1924  
 -1927] 18+22+12 ジ  
 小海永二・羽出庭梟公 アントニー  
 ト・エル・カンポリオの死 ⑧  
 p. 157-160 昭33.6  
 会田由 アントニート・エル・カン  
 ポリオの死 ④ p. 335-336  
 昭35.4  
 長谷川四郎 アントニート・エル・  
 カンポリオの死 ⑥ p. 80-82  
 昭42.6  
 会田由 アントニート・エル・カン  
 ポリオの死 ⑦ p. 163-238  
 昭44.4
- 桑名一博 [アントニート・エル・  
 カンポリオの死] <ガルシエア・  
 ロルカ論 ロイ・キャンベル>  
 ○全集・現代世界文学の発見 3  
 スペイン人民戦争 長田弘編  
 (学芸書林) p. 379-380 昭45.2
- Muerte de la Petenera** (En la casa  
 blanca muere) 1921 2+2+4+2+  
 4+2 カ  
 小海永二・羽出庭梟公 ペテネーラ  
 の死 ③ p. 117-118 昭33.6
- Muerto de amor** (¿Qué es aquello  
 que reluce) [1924-1927] 8+10+  
 36 ジ  
 野々山ミチコ 愛に死す ④ p. 336  
 -337 昭35.4  
 長谷川四郎 愛の死 <ロルカ み  
 ずからの言語・大衆の言語>  
 ○詩の本III 詩の鑑賞(筑摩書  
 房) p. 297 昭42.12  
 注: 第1連だけの訳  
 会田由 愛に死んで ⑦ p. 207-  
 210 昭44.4
- Narciso** (Niño.) [1921-1924] 2×5+  
 1+2 see also → **Debussy** 歌  
 小海永二 ナルシス ② p. 45-46  
 昭31.7
- Nido** (¿Qué es lo que guardo en  
 estos) 1919 16行 詩  
 大島正 巢 ⑨ 第247号 p. 2-3  
 昭46.9
- El niño loco** (Yo decía: ((Tarde)),  
 [1921-1924] 6+6+7 歌  
 野々山ミチコ 狂った子供 ④  
 p. 319 昭35.4
- El niño mudo** (El niño busca su  
 voz) [1921-1924] 4+4+2+2 歌  
 会田由 啞の子供 ① p. 395 昭31.3  
 小海永二・羽出庭梟公 啞の子供  
 ③ p. 91-92 昭33.6  
 長谷川四郎 口をきかない子供 ⑧  
 p. 54-55 昭42.6
- Noche** (Aquel camino) 不明 3×3+  
 6 他  
 小海永二 夜 ② p. 93-94 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 夜 ③  
 p. 275-276 昭33.6
- Nocturnos de la ventana** (Alta va  
 la luna.) [1921-1924] 2×4+4+2  
 ×4+4×3+4×5 歌  
 会田由 夜中の窓 ① p. 393-394  
 昭31.3



- 注：第3連だけの訳  
 小海永二 窓の夜想曲 ② p. 24-29 昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 窓の夜想曲 ③ p. 61-65 昭33.6
- 野々山ミチコ 窓の小夜曲 ④ p. 320-321 昭35.4
- 小海永二 窓の夜想曲 ⑤ p. 54-58 昭36.10
- 小海永二 窓の夜想曲 ○詩の教室 III 外国の現代詩と詩人 大岡信，関根弘，吉本隆明著（飯塚書店） p. 141-142 昭41.4  
 注：第3連だけの訳
- 長谷川四郎 窓のノクターン ⑥ p. 45-47 昭42.6
- Noiturnio do adolescente morto** (Imos silandeiros orela do vado) [1935] 2×10 ガ
- 小海永二・羽出庭臯公 死んだ者の夜想曲 ③ p. 242-243 昭33.6
- Norma y paraíso de los negros** (Odian la sombra del pájaro) [1929-1930] 4×7 =
- 小海永二 黒人たちの基準と楽園 ⑤ p. 124-126 昭36.10
- Oda a Salvador Dalí** (Una rosa en el alto jardín que tú deseas.) 1926 4×20+5+4×6 他
- 小海永二・羽出庭臯公 サルバドル・ダリにささげる詩 ③ p. 179-188 昭33.6
- 長谷川四郎 サルバドル・ダリへのオード ○カラー版世界文学全集別巻1 世界名詩集（河出書房新社） p. 438-441 昭44.5
- Oda a Walt Whitman** (Por el East River el Bronx.) [1929-1930] 5+4+6+4+4+5+16+8+8+6+6+4+4+7+4+13+11+4+7+11 =
- 木島始 ウォルト・ホイットマンへのオード ③ p. 209-217 昭33.6
- 朝吹登水子 ウォルト・ホイットマンについてのロルカの詩 ○優しい関係 フランソワーズ・サガン著 朝吹訳（新潮社） p. 35 昭44.2  
 注：第13連からの抜萃 2行の訳
- Oda al rey de Harlem** (Con una cuchara.) [1929-1930] 4+3+4+5+5+9+5+6+5+10+1+4+3+4+5+5+4+5+4+12+1+6+5+9 =
- 木島始 ハーレムの王へのオード ③ p. 198-207 昭33.6
- 同上 ○詩黒人ジャズ 木島著（晶文社，晶文選書） p. 162-163 昭40.6  
 注：第7, 11, 12, 13連の抜萃の訳
- 同上 くわたしの好きな五つの詩 高良留美子）○わが愛する詩—わたしのアンソロジー 新装版（思潮社） p. 302-309 昭45.4
- Otra canción** (¡ El sueño se deshizo para siempre!) 1919 5+11+6+6 詩
- 小海永二 もう一つの歌 ⑤ p. 25-27 昭36.10
- Paisaje** (El campo) 1921 10+8 カ
- 会田由 風景 ① p. 395 昭31.3
- 長谷川四郎 風景 ⑥ p. 15-16 昭42.6
- Paisaje** (La tarde equivocada) [1921-1924] 2+4+4 歌
- 小海永二・羽出庭臯公 風景 ③ p. 71 昭33.6
- Paisaje de la multitud que vomita** (La mujer gorda venía delante) 1929 14+9+16+5 =
- 小海永二 嘔吐する群衆の風景 ⑤ p. 127-129 昭36.10
- Paso** (Virgen con miriñaque,) 1921 14行 カ
- 小海永二 通行 ⑤ p. 33-34 昭36.10
- El paso de la siguriya** (Entre mariposas negras,) 1921 4+2+4+2 カ
- 小海永二・羽出庭臯公 シギリヤが通り過ぎる ③ p. 103-104 昭33.6
- 長谷川四郎 シギリヤ通りすぎる ⑥ p. 18-19 昭42.6

- Pequeño poema infinito** (Equivocar el camino) 1930 4+6+4+3+12 = 長谷川四郎 小無限詩 ⑥ p. 97-98 昭42. 6
- Pequeño vals vienés** (En Viena hay diez muchachas,)(1929-1930) 8+3+8×3+9 = 小海永二 小さなウィーン・ワルツ ⑤ p. 136-139 昭36. 10
- Poema de la soleá** (Tierra seca.) 1921 4+2+9+2 カ 長谷川四郎 乾いた土地 ⑥ p. 21 昭42. 6  
注：訳者は初句を題名にしている
- Preciosa y el aire** (Su luna de pergamino) 1921 12+4+8+4×3 +6+4×4 ジ 小海永二 気どった娘と風 ② p. 70-75 昭31. 7  
小海永二・羽出庭梟公 プレシオーサと風 ③ p. 133-137 昭33. 6  
野々山ミチコ プレシオーサと風 ④ p. 327-328 昭35. 4  
長谷川四郎 澄ました娘と風 ⑥ p. 64-66 昭42. 6  
会田由 プレシオーサと風 ⑧ p. 169-173 昭44. 4  
桑名一博 [プレシオーサと風] <ガルシア・ロルカ論 ロイ・キャンベル> ○全集・現代世界文学の発見3 ス페인人民戦争 長田弘編 (学芸書林) p. 370-371 昭45. 2
- Prendimiento de Antoñito el Camborio en el camino de Sevilla** (Antonio Torres Heredia,)(1924-1927) 16+12+10+8 ジ 小海永二・羽出庭梟公 セビリアへの途上でのアントニート・エル・カンポリオの捕縛 ③ p. 154-156 昭33. 6  
会田由 セビーリャへの道でアントニート・エル・カンポリオの捕縛 ④ p. 334-335 昭35. 4  
長谷川四郎 アントニート・エル・カンポリオ拘引さる セビリアへの途上において ⑥ p. 78-80 昭42. 6  
会田由 セビーリャへの道でアントニート・エル・カンポリオの捕縛 ⑦ p. 201-204 昭44. 4
- Pueblo** (Sobre el monte pelado) 1921 12行 カ 小海永二・羽出庭梟公 村 ③ p. 107 昭33. 6  
長谷川四郎 村 ⑥ p. 21-22 昭42. 6
- Puñal** (El puñal,) 1921 4+3+4+3 カ 長谷川四郎 短刀 ⑥ p. 22-23 昭42. 6
- Remansillo** (Me miré en tus ojos) 1922 (2+1)×3 初 小海永二 水の鏡 ② p. 19-20 昭31. 7  
長谷川四郎 水鏡 ③ p. 47-48 昭33. 6  
小海永二 小さな淀み ⑤ p. 48 昭36. 10  
長谷川四郎 小さな溜り水 ⑥ p. 36 昭42. 6
- Remanso** (El buho) 不明 10行 他 小海永二 よどみ水 ② p. 92 昭31. 7  
小海永二・羽出庭梟公 淀み ③ p. 274 昭33. 6
- Remanso, canción final** (Ya viene la noche.) 1922 (1+2)×3+1+4 初 小海永二 淀み, 終の歌 ⑤ p. 49-50 昭36. 10  
長谷川四郎 溜り水, 終りの歌 ⑥ p. 37-38 昭42. 6
- Remansos** (Cipreses) 1922 2×4 初 長谷川四郎 溜り水 ⑥ p. 35-36 昭42. 6
- Reyerta** (En la mitad del barranco) 1926 22+8+8 ジ 小海永二 喧嘩 ② p. 76-79 昭31. 7  
小海永二・羽出庭梟公 喧嘩 ③ p. 137-139 昭33. 6  
野々山ミチコ あらそい ④ p. 328 昭35. 4  
小海永二 喧嘩 ⑤ p. 84-86 昭36. 10  
長谷川四郎 格闘 ⑥ p. 66-68

- 昭42.6  
 会田由 あらそい ⑦ p. 173-175  
 昭44.4
- 桑名一博 [格闘] <ガルシーア・ロルカ論 ロイ・キャンベル>  
 ○全集・現代世界文学の発見 3  
 スペイン人民戦争 長田弘編  
 (学芸書林) p. 372-373 昭45.2
- Ritmo de otoño** (Amargura dorada en el paisaje.) 1920 2+23+4+4  
 +2+12+16+10+20+2+8+4+11+14+2 詩  
 大島正 秋の韻律 ⑨ 第245号  
 p. 3-6 昭46.7
- Romance de la Guardia Civil española** (Los caballos negros son.) [1924-1927] 16+8+12+20+8+8+20+24+4+4 ジ  
 小海永二・羽出庭梟公 スペイン警察兵のロマンセ ③ p. 160-167 昭33.6  
 野々山ミチコ スペイン警備兵のロマンセ ④ p. 337-339 昭35.4  
 小海永二 スペイン警察兵のロマンセ ⑤ p. 108-116 昭36.10  
 長谷川四郎 スペイン警官隊のロマンス ⑥ p. 85-89 昭42.6  
 同上 ○長谷川四郎作品集4 (晶文社) p. 27-31 昭44.1  
 会田由 スペイン警察隊のロマンセ ⑦ p. 215-222 昭44.4  
 桑名一博 [スペイン警察隊のロマンセ] <ガルシーア・ロルカ論 ロイ・キャンベル> ○全集・現代世界文学の発見 3 スペイン人民戦争 長田弘編(学芸書林) p. 381-384 昭45.2
- Romance de la luna, luna** (La luna vino a la fragua) [1924-1927] 20+4×4 ジ  
 会田由 月よ, 月よの「ロマンセ」 ① p. 396-397 昭31.3  
 小海永二・羽出庭梟公 月よ月よのロマンセ ② p. 131-133 昭33.6  
 会田由 月よ, 月よのロマンセ ④ p. 327 昭35.4  
 長谷川四郎 お月さんのロマンス
- ⑥ p. 62-64 昭42.6  
 会田由 月よ, 月よのロマンセ ⑦ p. 167-169 昭44.4
- Romance de la pena negra** (Las piquetas de los gallos) [1924-1927] 38+8 ジ  
 野々山ミチコ 黒い苦悩のロマンセ ⑥ p. 331-332 昭35.4  
 小海永二 黒い苦しみのロマンセ ⑤ p. 100-103 昭36.10  
 長谷川四郎 黒い悲しみのロマンス ④ p. 73-75 昭42.6  
 会田由 黒い悲しみのロマンセ ⑦ p. 187-189 昭44.4
- Romance del emplazado** (¡Mi soledad sin descanso!) [1924-1927] 13+8+20+4+12 ジ  
 野々山ミチコ 召喚されし者のロマンセ ④ p. 336-337 昭35.4  
 長谷川四郎 呼び出された者のロマンセ ⑥ p. 82-84 昭42.6  
 会田由 神に召されし者のロマンセ ⑦ p. 211-214 昭44.4
- Romance soñambulo** (Verde que te quiero verde.) [1924-1927] 12+12+28+8+12+14 ジ  
 野々山ミチコ 夢の中のロマンセ ④ p. 329 昭35.4  
 小海永二 夢遊病者のロマンセ ⑤ p. 87-93 昭36.10  
 長谷川四郎 夢遊病のロマンス ⑥ p. 68-71 昭42.6  
 会田由 夢遊病者のロマンセ ⑦ p. 176-181 昭44.4  
 桑名一博 [夢遊病者のロマンセ] <ガルシーア・ロルカ論 ロイ・キャンベル> ○全集・現代世界文学の発見 3 スペイン人民戦争 長田弘編 (学芸書林) p. 373-376 昭45.2
- Romaxe de Nosa Señora da Barca** (¡Ay ruada, ruada!) 1935 3+4×4+3 ガ  
 小海永二 小舟に乗った聖母マリアのロマンセ ⑤ p. 163-165 昭36.10

- San Gabriel (Sevilla)** (Un bello niño de junco,) [1924-1927] 26+24  
+12+4+4 ジ
- 小海永二・羽出庭臯公 聖ガブリエル(セビリャ) ③ p. 149-153 昭33.6
- 会田由 聖ガブリエル(セビリーヤ) ④ p. 333-334 昭35.4
- 小海永二 聖ガブリエル(セビリーヤ) ⑤ p. 103-108 昭36.10
- 長谷川四郎 聖ガブリエル(セビリーヤ) ⑥ p. 75-78 昭42.6
- 会田由 聖ガブリエル(セビリーヤ) ⑦ p. 197-201 昭44.4
- San Miguel (Granada)** (Se ven desde las barandas,) [1924-1927] 4+4+8+4+8+16+4+4 ジ
- 小海永二 聖ミカエル(グラナダ) ② p. 85-89 昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 聖ミカエル(グラナダ) ③ p. 143-146 昭33.6
- 会田由 聖ミゲル(グラナダ) ④ p. 332 昭35.4
- 同上 ⑦ p. 190-193 昭44.4
- 桑名一博 [聖ミゲル] <ガルシーア・ロルカ論 ロイ・キャンベル> ①全集・現代世界文学の発見3 スペイン人民戦争 長田弘編(学芸書林) p. 378-379 昭45.2
- San Rafael (Córdoba)** (Coches cerrados llegaban) [1924-1927] 26+20+4 ジ
- 小海永二・羽出庭臯公 聖ラファエル(コルドバ) ③ p. 146-149 昭33.6
- 会田由 聖ラファエル(コルドバ) ④ p. 332-333 昭35.4
- 同上 ⑦ p. 194-197 昭44.4
- La sangre derramada** (¡Que no quiero verla!) 1935 1+3+1+4+1+10+17+28+25 イ
- 小海永二・羽出庭臯公 流された血 ③ p. 226-232 昭33.6
- 小海永二 流れた血 ⑤ p. 147-154 昭36.10
- 長谷川四郎 流血 ⑥ p. 103-107 昭42.6
- Las seis cuerdas** (La guitarra,) 1921 11行 カ
- 小海永二・羽出庭臯公 六つの弦 ③ p. 114-115 昭33.6
- Serenata** (Por las orillas del río) 1925 (4+1)×3 歌
- 小海永二 小夜曲 ② p. 52-53 昭31.7
- 小海永二・羽出庭臯公 セレナータ 小夜曲 ③ p. 90-91 昭33.6
- 小海永二 小夜曲 ⑤ p. 75-76 昭36.10
- 同上 ○近代詩から現代詩へ 小海永二著(有精堂出版株式会社) p. 306-307 昭41.4
- 長谷川四郎 セレナータ ⑥ p. 53-54 昭42.6
- 小海永二 小夜曲 <ロルカ 小海永二> ○詩を味わうために 海外篇 小海編(弥生書房, 世界の詩別巻) 昭46.7
- 注: 「川の岸辺で」以降4+1+4+1の断片
- Sevilla** (Sevilla es una torre) 1921 2+2+6+1+4+1+4+2 カ
- 小海永二・羽出庭臯公 セビリャ ③ p. 109-110 昭33.6
- El silencio** (Oye, hijo mío, el silencio,) 1921 6行 カ
- 長谷川四郎 静寂 ⑥ p. 18 昭42.6
- La soleá** (Vestida con mantos negros) 1921 3+1+3+1+3+2 カ
- 長谷川四郎 ソレアー ⑥ p. 25-26 昭42.6
- La sombra de mi alma** (La sombra de mi alma) 1919 4+1+4+1+6+4+1+4+3 詩
- 鼓直 ぼくの魂の影 ⑧ p. 125-127 昭44.7
- Son de negros en Cuba** (Cuando llegue la luna llena,) 1930 36行 =
- 木島始 キューバの黒人の唄 ③ p. 217-219 昭33.6
- 小海永二 キューバの黒人の楽の調

- ベ ⑤ p. 139-142 昭36.10  
 木島始 キューバの黒人の歌 ○詩  
 黒人ジャズ 木島著 (晶文社,  
 晶文選書) p. 164-166 昭40.6
- Sorpresa** (Muerto se quedó en la  
 calle) 1921 13行 カ  
 小海永二・羽出庭梟公 不意打ち  
 ③ p. 108 昭33.6  
 長谷川四郎 不意打ち ⑥ p. 24-  
 25 昭42.6
- Sueño** (Mi corazón reposa junto a  
 la fuente fría.) 1919 3×6 詩  
 小海永二・羽出庭梟公 夢 ③  
 p. 39-41 昭33.6  
 長谷川四郎 夢 ⑥ p. 8 昭42.6
- Suicidio** (El jovencito se olvidaba.)  
 [1921-1924] 2×9 歌  
 小海永二 自殺 ② p. 56-58 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 自殺 ③  
 p. 93-94 昭33.6  
 野々山ミチコ 自殺 ④ p. 322-  
 323 昭35.4  
 小海永二 自殺 ⑤ p. 78-79  
 昭36.10  
 長谷川四郎 自殺 ⑥ p. 55-56  
 昭42.6
- Thamár y Amnón** (La luna gira  
 en el cielo) [1924-1927] 12+10  
 +14+32+8+16+8 ジ  
 小海永二・羽出庭梟公 タマルとア  
 ムノン ③ p. 172-178 昭33.6  
 会田由 タマルとアムノン ④  
 p. 341-342 昭35.4  
 長谷川四郎 タマルとアムノン ⑥  
 p. 93-96 昭42.6  
 [小海永二・羽出庭梟公] タマルと  
 アムノン ○物と言葉一詩の行  
 為と夢 高良留美子著 (せりか  
 書房) p. 70 昭43.10  
 注: 第1連の訳のみ  
 会田由 タマルとアムノン ⑦  
 p. 232-238 昭44.4
- Tres historietas del viento** (El  
 viento venía rojo) 不明 8+7+  
 3+14 他  
 小海永二 風に関する三つの小篇
- ② p. 96-99 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 三つの風の  
 小篇 ③ p. 276-278 昭33.6
- Tu infancia en Mentón** (Sí, tu ni-  
 ñez yo a fábula de fuentes.) [1929  
 -1930] 45行 =  
 木島始 メントンでのおまへの幼時  
 ③ p. 195-198 昭33.6
- Vaca** (Se tendió la vaca herida; )  
 [1929-1930] 3×7 =  
 小海永二 牝牛 ⑤ p. 134-136  
 昭36.10
- Variación** (El remanso del aire)  
 1922 2×3 初  
 長谷川四郎 ヴァリエーション ③  
 p. 48 昭33.6  
 同上 バリエーション ⑥ p. 37  
 昭42.6
- Venus** (La joven muerta) [1921-  
 1924] 4×3 see also → **Juan Ra-  
 món Jiménez** 歌  
 小海永二・羽出庭梟公 ヴィーナス  
 ③ p. 82 昭33.6
- Verlaine** (La canción.) [1921-1924]  
 5+4+3+2×3 歌  
 小海永二 ヴェルレーヌ ② p. 43  
 -44 昭31.7  
 小海永二・羽出庭梟公 ヴェルレー  
 ス ③ p. 78-80 昭33.6  
 野々山ミチコ ヴェルレーヌ ④  
 p. 332 昭35.4  
 小海永二 ヴェルレーヌ ⑤ p. 68  
 -69 昭36.10
- Vuelta de paseo** (Asesinado por el  
 cielo.) [1929-1930] 4+2×4 =  
 鼓直 散歩の帰り道 ⑧ p. 137-  
 138 昭44.7
- Y después** (Los laberintos) 1921  
 3+2+3+2+3+4 カ  
 会田由 その後は ① p. 395-396  
 昭31.3  
 小海永二・羽出庭梟公 さらにその  
 後では ③ p. 105-107 昭33.6  
 長谷川四郎 またそのあとで ⑥  
 p. 20 昭42.6

## A 2 詩の評論

### 著作

- 評論スペインの子守唄 永川玲二訳  
 ○ロルカ選集3 戯曲編下(ユ  
 リイカ) p. 191-223 昭33. 11
- ルイス・デ・ゴンゴラの詩のイメー  
 ジ 小海永二訳  
 ○ロルカ詩集 小海訳編(飯塚  
 書店, 世界現代詩集V) p. 181  
 注: 抜萃訳10行×44字 昭36. 10

### 研究

- あとがき 小海永二  
 ○ロルカ選集1 詩編(ユリイ  
 カ) p. 282-283 昭33. 6
- ロルカの詩と劇について 窪田般弥  
 新劇 第5巻11号 p. 76-81  
 昭33. 9
- ロルカの詩における隠喩 大島正  
 人文学(同志社大) 第38号  
 p. 80-102 昭33. 11
- 詩人とその芸術, 詩人と民衆

アルテュロ・バレア  
 山本恒訳

- ロルカ選集別巻一ロルカ研究  
 小海永二編(ユリイカ) p. 23-  
 48, p. 49-93 昭34. 11

- ガルシア・ロルカの詩・文における  
 日本の投影 大島正  
 人文学(同志社大) 第63号  
 p. 1-16 昭37. 12

- ハバナで邂逅—ロルカとギレン  
 木島始  
 ○詩黑人ジャズ 木島著(晶文  
 社, 晶文選書) p. 161-173 昭40. 6

- スペインの詩を理解するために—ロ  
 ルカについて [小海永二]  
 ○詩の教室III 外国の現代詩と  
 詩人(飯塚書店) p. 141-147  
 昭41. 4

- フェデリコ・ガルシア・ロルカ  
 〈海外の現代詩人〉 小海永二

- 近代詩から現代詩へ 小海著  
 (有精堂出版株式会社, 有精堂  
 選書) p. 305-308 昭41. 4

詩人とその芸術 アルテュロ・バレア  
 山本恒訳

- ロルカ詩集 長谷川四郎訳  
 (みすず書房) p. 132-138  
 注: 「あとがき」中, 部分訳 昭42. 6

- あとがき 長谷川四郎  
 ○ロルカ詩集 長谷川訳(みす  
 ず書房) p. 129-143 昭42. 6

ロルカみずからの言語・大衆の言語  
 長谷川四郎

- 詩の本III 詩の鑑賞(筑摩書  
 房) p. 296-303 昭42. 12

詩や歌や絵は, 民衆の井戸から汲ま  
 れた水にすぎない…〈わたしの  
 アンソロジー〉 木島始

- 詩少年アメリカ 木島著(晶  
 文社) p. 226-227 昭43. 10

行為のなかの自然—ロルカのイメー  
 ジ 高良留美子  
 ○物と言葉—詩の行為と夢 高  
 良著(せりか書房) p. 68-71  
 昭43. 10

- ジプシー歌集〈解説と小伝〉 会田由  
 ○世界名詩集26 マチャード,  
 ヒメーネス, ロルカ(平凡社)  
 p. 252-257 昭44. 4

Federico García Lorca y su vida  
 dramática. (フェデリーコ・ガ  
 ルシア・ロルカとその劇の生涯)  
 大林多吉

- 横浜商大論集 第3巻1号  
 横 p. 132-151 西語文 昭44. 8

ガルシア・ロルカ 長南実  
 ○世界名詩鑑賞辞典 大沢実編  
 (東京堂出版) p. 67-72 昭44. 12

抒情詩についての二つの省察—アポ  
 リネールとガルシア・ロルカ  
 ガルシア・ロルカの「夢遊病的ロ  
 マンセ」

フーゴ・フリードリヒ  
 飛鷹節訳

- 近代詩の構造 フリードリヒ

著 飛鷹訳 (人文書院) p. 184  
-188, 244-246 昭45. 3

ガルシニア・ロルカの闘牛士への悼歌  
… 三島由紀夫

○三島由紀夫文学論集 三島著  
(講談社) p. 207 昭45. 3

注: 昭33.7.16の日記

フェデリコ・ガルシニア・ロルカの詩  
にあらわれた「愛と死」につい  
て 園田守男

長崎県立国際経済大学論集 第  
4巻3号 p. 1-26 昭45. 11

### A 3 付・ロルカを歌つた詩

#### 詩

**Cernuda, Luis** (セルヌーダ 1904-  
1963) 死せる詩人によせて

大沢実訳

○詩と政治 C. M. パウラ著  
大沢訳 (紀伊国屋書店, 現代文  
芸評論叢書) p. 69 昭42. 11

注: ルイス・セルヌーダ詩集「現実と希  
望」メキシコ・アルボル社刊収録

**Eluard, Paul** (エリュアール 1895-  
1952) 詩の批評 安藤次男訳

○エリュアール詩集 安藤訳  
(思潮社) p. 229-231 昭41. 4

注: ロルカ, サンボボルル, ドクールの  
3人の死を歌った詩。この詩の第2  
連目に「ガルシニア・ロルカは殺された  
…」とある

**Guillén, Nicolas** (ギリェン 1902-)

フェデリコ, 歌, ガルシニア・  
ロルカのひととき 羽出庭臈訳

○ギリェン詩集 羽出庭編訳  
(飯塚書店, 世界現代詩集VIII)  
p. 88-90, p. 90, p. 90-92 昭38. 3

同上 フェデリコ・四つめの不安,  
ひとつのうた, もうひとつのう  
た, ガルシニア・ロルカの詩神の  
ひととき 木島始訳

○詩黑人ジャズ 木島著 (晶文  
社, 晶文選書) p. 169-171,  
p. 171, p. 171-172, p. 172-173

昭40. 6

**Jones, LeRoi** (ジョーンズ 1934-)  
〔はるかなかなた〕 木島始訳

○詩黑人ジャズ 木島著 (晶文  
社, 晶文選書) p. 169 昭40. 6  
注: 題名不明。詩の一部の訳

**Machado, Antonio** (マチャード 1875  
-1939) グラナーダで犯罪が行  
われた 小海永二訳  
○ロルカ選集別巻—ロルカ研究  
小海編 (ユリイカ) p. 17-20  
昭34. 11

同上 〔よろしいか, 罪はグラナダ  
で犯されたのだ!〕 大沢実訳

○詩と政治 C. M. パウラ著  
大沢訳 (紀伊国屋書店, 現代文  
芸評論叢書) p. 81 昭42. 11

注: 上記の詩の二行の訳のみ

**Neruda, Pablo** (ネルーダ 1904-)  
フェデリーコ・ガルシニア・ロ  
ルカへのオード 羽出庭臈訳

○ネルーダ詩集 羽出庭編訳  
(飯塚書店, 世界現代詩集III)  
p. 30-38 昭36. 4

同上 小寺昭次郎訳

○現代の詩と政治 エンツェン  
スベルガー著 小寺訳 (晶文社,  
晶文選書10) p. 125 昭43. 9

注: エンツェンスベルガーが独逸語訳し  
たものからの翻訳詩

**Spender, Stephen** (スペンダー 1909  
-) 都市の没落 中桐雅夫訳

○世界詩人全集 6 二十世紀詩  
集下 (河出書房) p. 53 昭31. 3

同上 都市の陥落 徳永暢三訳

○スチーブン・スペンダー全詩  
集 徳永訳 (思潮社) p. 116-  
118 昭42. 11

#### 詩劇

**Whittington, Robert** (ホイットィ  
ングトン 1912-) ガルシニア・  
ロルカの死 鳴海四郎訳

悲劇喜劇 第209号 p. 60-78  
昭43. 3

注: 詩劇一幕。作者はアメリカの劇作家,  
詩人

## B 戯 曲

### B 1 個別の戯曲

#### Amor de Don Perlimplin con Belisa en su jardín 1931

ドン・ペルリンプリンとベリサの恋  
会田由訳

○現代世界戯曲選集Ⅶ 一幕物  
菅原卓編(白水社) p. 257-277

昭29.6

ドン・ペリリンプリンとベリサの庭  
の恋—愛の讃歌

ジェームス・グリア,  
栗林種一, 斎藤衛訳

○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
リイカ) p. 119-157 昭33.1

○ドン・ペルリンプリンの恋

高橋正武訳註

(大学書林, 語学文庫2012)

97 p. 新書判 昭39.6

まえがき(高橋正武) p. 3-4

愛と死のファルス Don Perlim-  
plin (林一郎) p. 5-16

注: 対訳で訳注はページ下段

ドン・ペルリンプリン—ロルカの劇  
場詩 フランシス・ファーガスン

篠田一士訳

三田文学 第47巻1号 p. 33-

41 ノート(篠田一士) p. 41

昭32.1

愛と死のファルス DON PERLIM-  
PLIN 林一郎

神戸外大論集 第8巻4号

p. 27-41 昭33.5

○ドン・ペルリンプリン—の恋

高橋正武訳註(大学書林, 語学  
文庫2012) p. 5-16 昭39.6

—劇評 <比較的充実していた九月の  
舞台> 奥野健男

新劇 第4巻14号 p. 107

昭32.11

注: 文学座アトリエ上演評

—舞台写真(フランス) シャンゼリ  
ゼ・スタジオ座

新劇 第3巻7号 p. 77 昭31.7

—舞台写真(フランス) シャンゼリ  
ゼ・スタジオ座

○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
リイカ) 口絵 p. 1 昭33.10

#### Bodas de sangre 1933

○血の婚礼 山田肇, 天野二郎訳  
(未来社, てすびす叢書49)

120 p. B6 昭29.3

あとがき(山田肇) p. 110-119

血の婚礼 小海永二訳

○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
リイカ) p. 159-265 昭33.1

ガルシア・ロルカの選集がユリイカ  
から出たので…<裸体と衣裳>

三島由紀夫

○三島由紀夫文学論集 三島著  
(講談社) p. 170-171 昭45.3

注: 昭33.2.27の日記

血の婚礼 森本哲郎

○スペインアンダルシア 文・  
森本 写真・船山克(朝日新聞  
社) p. 183-186 昭45.4

—劇評 血の婚礼 窪田般弥  
新劇 第6巻7号 p. 59-60

昭34.6

—劇評 三島由紀夫

○三島由紀夫文学論集 三島著  
(講談社) p. 254-255 昭45.3

注: 昭34.4.2の日記

—舞台写真(フランス)

新劇 第3巻7号 p. 75 昭31.7

—舞台写真(フランス) シャンゼリ  
ゼ・スタジオ座

○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
リイカ) 口絵 p. 4 昭33.1

—舞台写真

○現代演劇講座4(三笠書房)  
口絵 p. 4 昭34.1

—舞台写真(日本) ぶどうの会

新劇 第6巻7号 p. 59 昭34.6

—舞台写真(母親役タニア・バラシ  
ョヴァの写真)



- 新劇 第6巻10号 表紙 昭34.8  
 一舞台写真(アメリカ) ペンニング  
 トン・シアター  
 ○演劇百科大事典3 早大演博  
 編(平凡社) p. 565 昭35.10  
 一舞台写真(スペイン)  
 ○現代の演劇4 世界の演劇ヨ  
 ーロッパ篇(三笠書房)口絵  
 p. 8 昭40.11  
 血の結婚 会田由  
 ○演劇映画放送舞踊オペラ辞典  
 (白水社) p. 418 18×18  
 昭30.12  
 血の結婚 会田由  
 ○演劇百科大事典3 早大演博  
 編(平凡社) p. 565 30×18  
 昭35.10  
**La casa de Bernarda Alba** 1936  
 ○ベルナルダ・アルバの家—スペイ  
 ンの村の女のドラマ 山田肇訳  
 (未来社, てすびす叢書42)  
 108 p. B6 昭31.3  
 あとがき(山田肇) p. 106-107  
 ベルナルダ・アルバの家 羽出庭梟公訳  
 ○ロルカ選集3 戯曲編下(ユ  
 リイカ) p. 93-189 昭33.11  
 ベルナルダ・アルバの家 会田由  
 ○世界文学大系90 近代劇集  
 (筑摩書房) p. 270-301 昭40.6  
 ロルカの戯曲「ベルナルダ・アルバ  
 の家」 内村直也  
 悲劇喜劇 第6巻7号 p. 26-  
 31 昭27.7  
 一解説 ロルカの誕生日に 会田由  
 ○世界文学大系90 近代劇集  
 (筑摩書房) p. 393-395 昭40.6  
 ベルナルダ・アルバの家(名作を追  
 って) 野々山ミチコ  
 月刊スペイン語(大学書林)  
 第80号 p. 42-45 昭42.7  
 一舞台写真  
 悲劇喜劇 第6巻7号 p. 29  
 昭27.7  
 一舞台写真(フランス) オウヴル座,

- ジャンゼリゼ・スタジオ座  
 新劇 第3巻7号 p. 81, 82  
 2枚 昭31.7  
 一舞台写真(日本) ぶどうの会  
 ○ロルカ選集3 戯曲篇下(ユ  
 リイカ)口絵 p. 1 昭33.11  
 一舞台写真(アルゼンチン)  
 ○演劇百科大事典5 早大演博  
 編(平凡社) p. 158 昭36.9  
 一舞台写真(スペイン)  
 ○現代の演劇4 世界の演劇ヨ  
 ーロッパ篇(三笠書房) p. 247  
 昭40.11  
 一舞台写真(日本) ぶどうの会  
 ○戦後演劇の形成と展望 上巻  
 菅井幸雄著(未来社)口絵 p. 5  
 昭42.4  
 ベルナルダ・アルバの家 会田由  
 ○演劇映画放送舞踊オペラ辞典  
 (白水社) p. 650 14×18  
 昭30.12  
 ベルナルダ・アルバの家 会田由  
 ○世界名著大辞典5(平凡社)  
 p. 455 a 15×26 昭35.11  
 ベルナルダ・アルバの家 会田由  
 ○演劇百科大事典1 早大演博  
 編(平凡社) p. 158 37×18  
 昭36.9  
**La doncella, el marinero y el es-  
 tudiante** <Teatro breve> 1928  
 娘と船乗と学生とくてもとろ・ぶれ  
 ーべ> 大島正訳  
 ○世界短篇文学全集9 南欧文  
 学—近代 野上素一編(集英社)  
 p. 329-331 昭38.2  
**Doña Rosita la soltera, o el len-  
 guaje de las flores** 1935  
 老嬢ドニャ・ロシーターあるいは愛  
 の花束 ジュームス・グリア,  
 栗林種一, 斎藤衛訳  
 ○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
 リイカ) p. 27-117 昭33.1  
 一舞台写真(フランス) ノクタンブ  
 ユル座  
 新劇 第3巻7号 p. 78 昭31.7

一舞台写真(ドイツ)ブルグ劇場,  
(フランス)ルーブル座  
○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
リイカ)口絵 p. 2-3 2枚

昭33.1

**El Paseo de Buster Keaton** <Teatro  
breve> 1928

バスター・キートンの散歩 <てあ  
とろ・ぶれーべ> 大島正訳  
○世界短篇文学全集9 南欧文  
学—近代 野上素一編(集英社)  
p. 327-329 昭38.2

**Quimera** <Teatro breve> 1928

怪獣 <てあとろ・ぶれーべ>  
大島正訳  
○世界短篇文学全集9 南欧文  
学—近代 野上素一編(集英社)  
p. 332-335 昭38.2

**Retabillo de Don Cristobál** 1931

ドン・クリストバル—昔の絵  
ジェームス・グリア,  
栗林種一, 斎藤衛訳  
○ロルカ選集2 戯曲篇上(ユ  
リイカ) p. 5-25 昭33.1

**Yerma** 1934

イェルマ—悲劇詩 会田由訳  
○現代世界戯曲選集IV 南欧北  
欧篇(白水社) p. 1-57 昭28.12  
イェルマ 会田由訳  
○カラー版世界文学全集別巻2  
現代世界戯曲集(河出書房新社)  
p. 327-360 昭44.4  
一解説<スペイン近代演劇について>  
会田由  
○現代世界戯曲選集IV 南欧北  
欧篇(白水社) p. 395-398  
昭28.12  
一劇評 血の花(イェルマ) A. B対談  
テアトロ 182号 p. 63-68  
昭33.11

注: 俳優座上演評

一劇評 血の花 加藤衛, 米村晰  
悲劇喜劇 第12巻12号 p. 12-  
16 昭33.12  
一劇評 <裸体と衣裳> 三島由紀夫

○三島由紀夫文学論集  
三島著(講談社) p. 217

昭45.3

注: 昭33.9.18の日記

一舞台写真(フランス) ユニェット  
座

新劇 第3巻7号 p. 79, 80  
2枚 昭31.7

一舞台写真(日本)俳優座  
悲劇喜劇 第12巻11号  
口絵 p. 1 昭33.11

一舞台写真(スペイン)

○演劇百科大事典3 早大演博  
編(平凡社) p. 329 昭35.10

一舞台写真(スペイン)

○玉川百科大辞典16 西洋文芸  
(誠文堂新光社) p. 530 昭36.9

イェルマ 会田由

○演劇映画放送舞踊オペラ辞典  
(白水社) p. 37 13×18 昭30.12

イェルマ 会田由

○演劇百科大事典1 早大演博  
編(平凡社) p. 110-112 25×  
18 昭35.3

**La zapatera prodigiosa** 1930

素晴らしき靴屋の女房 小海永二訳  
○ロルカ選集3 戯曲篇下(ユ  
リイカ) p. 5-91 昭33.11  
すばらしい靴屋の女房 会田由訳  
○現代世界演劇3 詩的演劇  
(白水社) p. 67-111 昭46.3  
一解題 F. G. ロルカ「すばらしい  
靴屋の女房」 会田由  
○現代世界演劇3 詩的演劇  
(白水社) p. 339-340 昭46.3  
一劇評 すてきな靴屋のおかみさん  
小場瀬卓三  
新劇 第5巻8号 p. 73-75  
昭33.7  
一舞台写真(フランス)  
新劇 第3巻7号 p. 76 昭31.7  
一舞台写真(日本)新人会  
新劇 第5巻8号 口絵 p. 2  
昭33.7

B 2 戯曲の評論

著作

演劇の権威 山田肇訳  
悲劇喜劇 第17巻12号 p. 23-25 昭38. 12

研究

ロルカをめぐって 渡辺淳  
新劇 第2巻6号 p. 74-75+81 昭30. 6

国民の歴史的現実におろすといふこと—ロルカの戯曲に即して  
小場瀬卓三  
日本文学 第5巻5号 p. 333-339 昭31. 5  
パリで観たロルカの芝居 朝吹登水子  
新劇 第3巻7号 p. 75-83 昭31. 7

劇的な詩、土のかおり—ロルカ選集  
2 戯曲篇上 矢代静一  
図書新聞 第438号 p. 5 昭33. 2  
民衆の芸術家 フェデリコ・ガルシア・ロルカ 菅井幸雄  
テアトロ 第178号 p. 25-29 昭33. 7

マルキーナがのこした詩劇を…  
ガルシア・ロルカの「血の結婚」が上演された…〈スペイン演劇の今日と明日〉 会田由  
○現代演劇講座4 世界の演劇1 作家と作品 (三笠書房) p. 214-215 昭34. 1

ロルカの戯曲 小場瀬卓三  
新劇 第6巻7号 p. 64-70 昭34. 6

ロルカの戯曲 ルイ・パロ 花崎卓平訳  
○ロルカ選集別巻—ロルカ研究 小海永二編 (ユリイカ) p. 95-109 昭34. 11

ロルカの戯曲 小場瀬卓三  
○演劇と演劇史の十字路で (白

水社) p. 236-238 昭35. 4  
ペナベンテヤアルバレス・キンテーロ兄弟によって始められた今世紀のスペイン演劇は…〈スペイン演劇〉 会田由  
○演劇百科大事典3 早大演博編 (平凡社) p. 329 14×18 昭35. 10

ロルカ演劇についての一考察 大林文彦  
東京外国語大学論集 第9巻 p. 81-86 昭37. 3  
ロルカの誕生日に 会田由  
○世界文学大系90 近代劇集 (筑摩書房) p. 393-395 昭40. 6  
マルキーナが残した詩劇を再びとりあげて…〈ガルシア・ロルカの「血の婚礼」が…〈スペイン演劇の今日と明日〉 会田由  
○現代の演劇4 世界の演劇ヨーロッパ篇 (三笠書房) p. 246-248 昭40. 11

ガルシア・ロルカ…  
シャルル・V・オーブラン 会田由, 戸張智雄・規子訳  
○スペイン演劇史 オーブラン著 会田, 戸張共訳 (白水社, 文庫クセジュ147) p. 137-139 昭44. 2

F・G・ロルカ ミシェル・コルヴァン 和光哲夫訳  
○世界の前衛劇 コルヴァン著 和光訳 (白水社, 文庫クセジュ490) p. 38-40 昭46. 4

B 3 付・日本における上演記録

Amor de Don Perlimplin con Belisa en su jardín  
昭32. 4. 26 (大阪) 大手前会館 青猫座 演出: 辻正雄  
昭32. 9. 12—21 文学座アトリエ 演出: 賀原夏子 出演: 有馬昌彦, 佐野タダ枝

昭41. 10. 25—27 (東京)  
日仏会館ホール  
劇団造形 演出：天野二郎  
昭45. 3. 2—4. 13 (東京) 伊勢丹会館  
舞台の会 演出：松岡豊明

### Bodas de sangre

昭34. 3. 31—4. 10 (東京) 砂防ホール  
ぶどうの会 演出：山田肇  
出演：福山きよ子、青木和子、磯村千花子  
昭43. 5 (東京) 池袋アートシアター  
劇団日本 演出：堂本正樹 訳：山田肇、天野二郎

### La casa de Bernarda Alba

昭30. 10. 1—10 (東京) 一つ橋講堂  
昭30. 10. 14—24 (大阪) 毎日会館  
昭30. 10. 25—26 (京都) 弥栄会館  
昭31. 2. 21—26 (東京) 日本青年館  
ぶどうの会 演出：岡倉士郎、山田肇 出演：山本安英

### Yerma

昭33. 9. 18—10. 8  
(東京) 俳優座劇場  
昭33. 10. 11—10. 25  
(東京) 朝日会館  
俳優座 演出：田中千禾夫  
出演：大塚道子、滝田裕介

### La zapatera prodigiosa

昭33. 5. 6—11 (東京) 俳優座劇場  
新人会 演出：早野寿郎、山内泰雄  
出演：渡辺美佐子、佐藤英郎

## C 評 伝

### C 1 評 論

スペイン文学の三つの柱—チェコスロバキヤ作家同盟における講演  
パエプロ・ネルーダ  
坂井松太郎 訳  
新日本文学 第9巻7号 p. 152—157 昭29. 7

注：アドルフ・フタヌーラがスペイン語からエスベラントに訳したものからの重訳

痛ましいロルカの死—ロルカ研究への手引 瀬田栄之助  
MAS Y MENOS(大阪外語大)  
第15号 p. 16—19 昭30. 11

ガルシア・ロルカ 会田由  
○現代世界文学講座 8 北欧・南欧・東欧篇 (講談社) p. 202—205 昭31. 12

民衆詩人 G・ロルカ—選集出版にことよせて 瀬田栄之助  
新読書 第251号 p. 40—41 昭33. 8

ロルカ・その生涯 小海永二  
ロルカの秘密 フラソワ・ヌーリッシュェ  
小海永二 訳

音楽家ロルカの思い出  
マルセル・シュバイツェル  
花崎阜平 訳

ロルカのジプシー  
マイクル・スウォン  
篠田綾子 訳

ロルカの死の真相  
ジェラルド・ブレナン  
グラナダはロルカの暗殺者を発見した

ジャン＝ピエール・シャプロル  
小海永二 訳  
あとがき 小海永二

○ロルカ選集別巻—ロルカ研究  
小海編 (ユリイカ) p. 1—21,  
111—129, 131—151, 153—171,  
173—192, 193—214, 227—230

昭34. 11

Federico García Lorca 論 瀬田栄之助  
MAS Y MENOS(大阪外語大)  
第19号 p. 36—42 昭34. 12

ガルシア・ロルカ〈人と作品—其の五〉 瀬田栄之助  
天理大学学報 第三十輯 第11巻2号 p. 20—36 昭34. 12

フェデリコ・ガルシア・ロルカ覚書 瀬田栄之助  
近代文学 第17巻6号 p. 1—5 昭37. 6

Lorca (1-3) 野々山ミチコ  
月刊スペイン語 (大学書林)  
第20-22号 p. 44-47, p. 45-48,  
p. 45-48 昭37.12, 38.1, 38.2

回想のフェデリコ・ガルシア・ロルカ  
ラファエル・A・ナダル  
みすず (みすず書房) 第71巻  
p. 52-56 昭40.4

スペインのうたい手—フェデリコ・  
ガルシア・ロルカの虐殺三〇周  
年にあたって  
ラファエル・アルベルティ  
平和と社会主義の諸問題 日本  
版 (日本共産党機関紙経営局)  
第9巻8号 p. 108-118 昭41.8

フェデリコ・ガルシア・ロルカ  
ジャン＝ルイ・ションベル  
長谷川四郎訳  
○ロルカ詩集 長谷川訳 (みす  
ず書房) p. 139-142 昭42.6  
注:「あとがき」のうち、ロルカの死の様  
子を記す。文章の一部の訳

ガルシア・ロルカ小伝 会田由  
○世界名詩集26 マチャード,  
ヒメーネス, ロルカ (平凡社)  
p. 264-266 昭44.4

ガルシア・ロルカ論  
ロイ・キャンベル  
桑名一博訳  
○全集・現代世界文学の発見3  
スペイン人民戦争 長田弘編  
(学芸書林) p. 331-384 昭45.2

ガルシア・ロルカ・人と作品 瀬田栄之助  
○スペイン文化とスペイン語の  
研究 瀬田著 (大盛堂書房)  
p. 272-287 昭46.4

ロルカ 小海永二  
○詩を味わうために 海外篇  
小海編 (弥生書房, 世界の詩別  
巻) p. 252-256 昭46.7

## C 2 小 伝

### 辞 典

ガルシア・ロルカ 高橋正  
○研究社世界文学辞典 斎藤勇  
編 (研究社辞書部) p. 219 11  
×22 昭29.10

ガルシア・ロルカ 会田由  
○演劇映画放送舞踊オペラ辞典  
(白水社) p. 171 20×18  
昭30.12

ガルシア・ロルカ  
○西洋人名辞典 岩波書店編集  
部編 (岩波書店) p. 368 a 10  
×22 昭31.10

ガルシア・ロルカ, フェデリコ  
会田由  
○演劇百科大事典2 早大演博  
編 (平凡社) p. 134-135 昭35.6

ガルシア・ロルカ 会田由  
○国民百科辞典2 カーチ (平  
凡社) p. 213 12×16 昭36.4

そのなかでもっともゆたかな才能に  
めぐまれ…〈南欧文学〉 会田由  
○玉川百科大辞典16 西洋文芸  
(誠文堂新光社) p. 530 昭36.9

ガルシア・ロルカ [会田由]  
○世界名著大辞典 (平凡社)  
p. 126 19×20 昭37.4

ガルシア＝ロルカ 会田由  
○日本百科大事典・昭和出版研  
究部編 (小学館) p. 181  
27×20 昭38.3

ガルシア・ロルカ [会田由]  
○世界原色百科事典2 おた—  
きり (小学館) p. 359 8×20  
昭41.1

ガルシア・ロルカ……〈スペイン  
文学〉 会田由  
○世界大百科事典12 シンク—  
セイス (平凡社) p. 572 12×  
20 昭41.4

ガルシア・ロルカ 野々山ミチコ  
○新潮世界文学小辞典(新潮社)  
p. 205-206 56×18 昭41.5

ロルカ 原千代海  
○現代新百科事典6 (学研)  
p. 727 11×20 昭41.9

ガルシア ロルカ  
○学研新世紀大辞典(学研)  
p. 381 4×24 昭43. 2

ガルシニア・ロルカ 荒井正道  
○現代教養百科事典9 文学  
(暁教育図書株式会社) p. 116  
21×20 昭43. 4

ガルシア＝ロルカ 桑名一博  
○ジャポニカ(大日本百科事典)  
相賀徹夫編(小学館) p. 63  
31×20 昭43. 10

ロルカ  
○アポロ百科事典 下中邦彦編  
(平凡社) p. 2151 12×17  
昭45. 8

### 小 欄

ガルシニア・ロルカ 会田由  
○世界詩人全集6 二十世紀詩  
集下(河出書房) p. 393 22×  
29 昭31. 3

ガルシア・ロルカ 大島正  
○世界短篇文学全集9 南欧文  
学—近代 野上素一編(集英社)  
p. 326 17×30 昭38. 2

ロルカ [小海永二]  
○詩の教室Ⅲ 外国の現代詩と  
詩人(飯塚書店) p. 141-142  
昭41. 4

ロルカ ガルシア〈詩人略歴〉藤原定  
○世界青春詩集 藤原編(三笠  
書房, 世界の名詩集11) p. 231  
昭42. 8

フェデリコ・ガルシア・ロルカ  
[鳴海四郎]  
悲劇喜劇 第209号 p. 61  
昭43. 3

ロルカ〈作者の横顔〉 [会田由]  
○カラー版世界文学全集別巻2  
現代世界戯曲集(河出書房新社)  
p. 441-442 昭44. 4

ガルシニア・ロルカ小伝 会田由  
○世界名詩集26(平凡社)  
p. 264-266 昭44. 4

フェデリコ・ガルシニア・ロルカ  
〈収録詩人略伝〉

○カラー版世界文学全集別巻1  
世界名詩集(河出書房新社)  
p. 463 10×34 昭44. 5

フェデリコ・ガルシア・ロルカ 鼓直  
○世界詩人全集23(新潮社, 現  
代詩集Ⅳ) p. 124 48×19 昭44. 7

### 断 片

フェデリコ・ガルシニア・ロルカは  
いかにも詩人らしい気まぐれか  
らであろう…〈スペイン〉 会田由  
○世界の文学 中野好夫編(毎  
日新聞社, 毎日ライブラリー)  
p. 341-344 昭26. 8

その中でも最も豊かな才能に恵まれ  
近代的な新しい形式と発想と…  
〈スペイン〉 会田由  
○解説世界文学史年表(中央公  
論社) p. 578 昭32. 1

フェデリコ・ガルシニア・ロルカ…  
ジャン・カン 会田由訳  
○スペイン文学史 カン著 会  
田訳(白水社, 文庫クセジュ185)  
p. 118-119 昭37. 2

スペイン人の完全な名前は…  
こうした死者のうちとくに…  
Brenan 氏は一九五〇年, 詩人…  
ヒュー・トマス 都築忠七訳

○スペイン市民戦争Ⅰ トマス  
著 都築訳(みすず書房) p. 14  
注, p. 152, p. 152 注 昭37. 11

ロルカは一九三〇年に書いた…  
大会はフェデリコ・ガルシア・  
ロルカ… アニア・フランコ  
大久保和郎訳

○キューバの祭り A. フラン  
コ著 大久保訳(筑摩書房)  
p. 66, p. 231 昭38. 7

そのなかで最もゆたかな才能にめぐ  
まれ, 近代的な新しい形式と発  
想に… 会田由

○世界の文学史3 南欧の文学  
(明治書院) p. 286 昭42. 4  
ロルカが一九三六年夏, グラナダで

国家主義者に射殺されたとき…  
〈私的イメージ〉 C. M. バウラ  
大沢実訳

○詩と政治 バウラ著 大沢訳  
(紀伊国屋書店, 現代文芸論叢  
書) p. 81-82 昭42.11

そして「新ゴンゴラ派」とも呼ばれる……ガルシア・ロルカは…  
…〈スペイン文学史〉 鼓直

○月刊スペイン語(大学書林)  
第116号 p. 27 昭45.6

グラナダ近くで生れた……この人が  
フェデリーコ・ガルシア・ロル  
カである…… J. B. トレンド  
丹羽光男訳

○スペイン文明史 トレンド著  
丹羽訳(みすず書房) p. 177-  
179 昭45.12

### 年 譜

ロルカ略年譜 小海永二  
○ロルカ選集別巻—ロルカ研究  
小海編(ユリイカ) p. 221-226  
昭34.11

[ロルカ]略年譜 小海永二  
○ロルカ詩集 小海訳(飯塚書  
店, 世界現代詩集V) p. 188-  
189 昭36.10

## C 3 ロルカの肖像写真

悲劇喜劇 第6巻7号 p. 27 昭27.7

○詩集月とオリーブの歌 小海永二  
訳(国文社, ビポー叢書24)  
口絵 昭31.7

○解説世界文学史年表(中央公論社)  
p. 578 a 昭32.1

○ロルカ選集1 詩篇(ユリイカ)  
口絵 p. 1, 2 2枚 昭33.6  
新読書 第251号 p. 40 昭33.8

○現代演劇講座4(三笠書房)  
口絵 p. 4 昭34.1

○世界名詩集大成14 南欧・南米  
(平凡社)口絵 p. 2 著35.4

○演劇百科大事典2 早大演博編  
(平凡社) p. 135 昭35.6

○玉川百科大辞典16 西洋文芸(誠  
文堂新光社) p. 530 昭36.9

○世界短篇文学全集9 南欧文学—  
近代 野上素一編(集英社) p. 326  
昭38.2

平和と社会主義の諸問題 日本版  
(日本共産党機関紙経営局) p. 110  
昭41.8

○ロルカ詩集 長谷川四郎訳(みす  
ず書房)口絵 昭42.6

○世界詩人全集23(新潮社, 現代詩  
集IV)口絵 p. 1 昭44.7

○スペイン文化とスペイン語の研究  
瀬田榮之助著(大盛堂書房) p. 285  
昭46.4